

ブルキナファソ国初等教育・理数科現職教員研修改善計画 第二次事前評価調査報告書

団長・総括	石原 伸一
教員研修	Mary Kariuki
研修計画	宮崎 岳
協力企画	山下 契

第一次事前評価調査における合意事項とその後の JICA ブルキナファソ事務所によるフォローアップをもとに、標記プロジェクトの立ち上げを目的として第二次事前評価調査を実施した。以下にその調査・協議結果について報告する。

I 調査総括

1. 基礎教育識字省の強いコミットメント

今般の調査団による大臣、次官との面談・協議を通じ、ブルキナファソでは教育の質の向上、なかでも教員の教授法の改善が課題となっており、現職教員の能力向上（理数科）に取り組む本プロジェクトに対し、基礎教育識字省（MEBA）をあげて実施運営に取り組んでいきたいとの姿勢がうかがえた。

5 月に実施した第一次事前評価調査時には、MEBA でプロジェクトに対する認識、特にオーナーシップが課題となっていたが、今回の調査において、関係部局間で横断的にプロジェクトに対する認識が共有され、オーナーシップが高まっており、実施体制が整いつつあることが確認された。この背景には、第一次事前評価調査後、①6 月中旬の SMASE-WECSA 会合（ザンビア）でプロジェクトの方向性についてケニア SMASSE 専門家及び JICA 本部と再協議したこと、②7 月初旬に MEBA 次官がケニア教育省次官を訪問したことにより SMASSE の哲学、現職教員研修制度の取り組みへの考え方について理解が深まったこと、③11 月のケニア SMASSE での第三国研修にブルキナファソから 10 名（ナショナルコーディネーター含む）が参加し、プロジェクトの研修内容やベースライン調査について意見交換が行われたことなど、絶え間なくケニア SMASSE と連携しつつ、プロジェクト開始に向けて準備に取り組んできたことが大きいと考えられる。

実施体制については、既にフルタイムのナショナルコーディネーター 1 名、20 名の中央研修講師（うち 7 名がコアトレーナーと位置づけ）が任命されており、プロジェクトの運営委員会の構成・機能についても省令化されている。詳細については後述するが、さらに今回の調査団の協議を通じほぼ実施体制の枠組みが固まった。同国の特徴としては、大臣、次官、担当局長、ナショナルコーディネーターのラインが一貫して本プロジェクトに積極的に取り組む姿勢が明確になっており、プロジェクト開始の体制が整っていると判断できる。

2. プロジェクト内容、留意点

本プロジェクトは、ブルキナファソにおける現職教員研修の枠組みである教員分科会（GAP：教員同士による月例研修会）活動を通じ教員の理数科における教授法の改善を目指すものであることから、GAP 活動が機能するかどうかが鍵となる。プロジェクトでは、中央研修講師（NT）と地方研修講師（LT）を育成（研修教材開発含む）し、GAP 代表（各 2 名）を対象に研修を行い、GAP において教員の理数科教授法の向上に関する活動が実践されていくことが期待されている。

今回の調査において先方との協議・現地視察を通じ今後のプロジェクトで留意していく

べき点について指摘しておきたい。

＜協議を通じての事項＞

- (1) 昨今の就学率向上に伴い小学校数と教員数が増えており、その結果、GAP 数も増加傾向にある（例：調査団が事前に把握していた Kadiogo 県の GAP 数は 129 であったが、最新のデータで 150 に増加）。このことから、当初、GAP 代表を各 3 名としたが、各 2 名とすることで今後の増加に対応できるよう調整した。ただし、Kadiogo 県（首都近郊）では LT1 人当たり約 37 名の GAP 代表（参考：LT8 名：GAP 代表 300 名）を研修するのにに対し、最も GAP 数が少ない Tuy 県（農村部）では LT5 名が 34 名の GAP 代表を研修するという不均衡が生じている。本件について協議で指摘したところ、研修をグループ別化するなどの工夫により対応したいとの意向が示されたが、今後、さらに GAP 数が増えていくことが予想され、都市部の県に LT 数を増やす、あるいは、研修回数を分けるなどの対応を検討していくことが必要になると考えられる。
- (2) 上述の対応に関連するが、先方負担による 1 日当たりの研修講師謝金の単価 25,000CFA（約 6,250 円）がブルキナファソの物価水準からすると高く、自立発展性の観点から、調査団側として単価の見直しも必要ではないかと申し入れた。先方は現在の政府の単価であるため変更は難しいとのことであったが、常識的な謝金の単価設定が望まれる。

＜現地視察を通じての事項＞

- (3) 今回、調査期間中に 3 つの GAP（10 月以降、2 回の GAP 活動を実施済）の代表・参加者との意見交換を行ったが、GAP の活動が何を目指しているのかコンセプトは理解しているものの、具体的な研修手法・進め方については十分理解できていないとの印象であった。
- (4) 現在、教員が直面している問題としては、1 教室の生徒数が 100 名を超えることも珍しくはなく、大規模クラスをどのように教えていくかが大きな課題となっており、この点をプロジェクトにおいても考慮する必要がある。
- (5) GAP 活動を組織化していくための構成などの枠組みはできているが、GAP 幹部（コーディネーター、事務局長など）の任期は 1 年とのことであった。プロジェクトにおいて、地方研修対象者となる GAP 代表を可能な限り固定するような措置を MEBA に働きかけるか、あるいは、別の方策を考えるのか検討していく必要がある。
- (6) 政府は GAP 活動に交通費などの支援をすることになっているが、実際には政府の支援がおろそかとの不満も聞かれた。政府による支援は、支援がないと研修を実施できないという消極的な態度に結びつくことも考えられ、負のインセンティブになる可能性もある。
- (7) 今回調査団が訪問したサイトを見る限り GAP 活動として機能していくのはこれからの段階との印象である。MEBA と JICA 事務所で可能な限り GAP の実態把握に努める必要があると考える。

3. 予算確保（コストシェアリング）

先方と JICA の予算負担については、現職教員研修の制度化を目指して、3 年間で年々先方負担を増やし、最終的に大まかに分けると研修実施経費（食費・宿泊費・交通費・講師謝金）をブルキナファソ側が負担し、JICA は技術支援（第三国専門家、研修教材作成支援）という形になるよう整理した。この結果、先方と JICA（長期専門家 1 名の経費は除く）の費用負担比率は、1 年目 2：8、2 年目 5：5、3 年目 6：4 となり、トータルで 4：6 の割合となる。

また、JICA 事務所の助言もあり、本予算を確実に財務省から確保・執行できるよう今回のミニッツの署名者に財務省協力総局長も加わってもらうことで調整を行った。また、ミニッツには R/D の原案も参考として別添した。R/D は MEBA 大臣、財務省大臣、JICA 事務所長間で署名することを確認し、高いレベルでの政治的コミットメントが確保できるよう

配慮した。

本プロジェクトを同国のプログラムとして位置づけ、着実に実行していくためには他ドナーとも十分情報共有を図っていくことが必要であることから、今回、教育ドナー会合の議長であるオランダにプロジェクト概要について説明を行った。引き続き他ドナーと情報共有を図っていくことを JICA 事務所をお願いしたい。

4. 西アフリカ仏語圏間協力の促進

ブルキナファソとほぼ同時期にセネガルの理数科教育改善プロジェクトの開始が予定されている。今後、セネガルとブルキナファソの相互訪問などを通じ知見・経験の共有を図ることは双方のプロジェクトにとって有益であると考えられる。例えば、ブルキナファソの実施体制はセネガルに参考になる部分が多く、セネガルの教員分科会 (CAP) はブルキナファソの GAP よりも歴史が古く参考になる部分が多いと思われる。また、ニジェールでは中等レベルではあるが、SMASSE 関連プロジェクトが先行しており、ベースライン調査や教材作成の経験がセネガルやブルキナファソのプロジェクトにも有効であると思われる。

西アフリカ仏語圏は類似の制度、独自のネットワークを有しており、将来的には、SMASSE 関連プロジェクトが西アフリカ仏語圏間協力につながっていくことが期待される。

5. その他

今回の調査には、ケニア SMASSE から Kariuki 団員が参団し、先方との協議において、ケニアでの知見・経験に基づき的確な助言がなされた。

また、本調査において、ご支援いただいた JICA 事務所関係者に対し、深く感謝申し上げるとともに、プロジェクトが予定通り開始できるようフォローをお願いしたい。

II 調査・協議結果 (合意事項)

1. プロジェクトの枠組み

(1) プロジェクト名称：

和文：ブルキナファソ国初等教育・理数科現職教員研修改善計画

仏文：“Appui à la Formation Continue des Enseignants en Matière de Sciences et de Mathématiques à l’Ecole Primaire”

英文：“Teachers Training Improvement in Science and Mathematics at the Primary Level (SMASSE-Burkina Faso)”

(2) プロジェクト期間： 3 年間

(3) 対象レベル・教科： 小学校理数科

(4) 対象地域： Kadiogo、Ouhimbira、Sanmatenga、Tuy の 4 県

(5) ターゲットグループ：

- 中央研修講師 23 名
- 教育アドバイザー 143 名 (地方研修講師 23 名を含む)
- 教員分科会 (GAP) 代表 472 名 (236GAP から各 2 名)
- 対象 4 県の全教員 約 7,200 名

2. PDM 要約

(1) 上位目標： 現職教員研修を通じて、理数科教育の質が向上する。

(2) プロジェクト目標： 現職教員研修を通じて、理数科における教員の教授法が改善される。

(3) 成果：

【成果 1】プロジェクトを実施するための組織体制が構築される。

【成果 2】研修のコンテンツが開発される。

【成果3】中央研修講師（NT）、地方研修講師（LT）、教育アドバイザー、GAP代表の能力が強化される。

【成果4】ASEI/PDSI¹の概念がGAP活動に導入され、定着する。

（4）投入

【日本側】

- 長期専門家
- 短期専門家
- プロジェクト・研修に必要な資機材
- 日本あるいは第三国における研修

【ブルキナファソ側】

- カウンターパート：ナショナルコーディネーター（NC）、中央研修講師（うちNCを含む7名がコアトレーナー）、ローカルコーディネーター（LC）、地方研修講師
- プロジェクト事務所
- 中央・地方研修センター
- 中央・地方研修実施経費（食費、宿泊費、交通費）
- モニタリング・評価にかかる経費

3. 研修システム

（1）中央研修

ア. 中央研修講師： 23名で内訳はMEBA11名、初等教員養成校(ENEP)教官7名(Loumbila校3名、他4校から各1名)、学区(CEB)の教育アドバイザー5名

イ. 研修対象者： 州、県、CEBの教育アドバイザー143名（うち23名が地方研修講師）

ウ. 研修時期・期間： 8月、10日間

エ. 中央研修センター： ENEP Loumbila

（2）地方研修

ア. 地方研修講師： 州、県、CEBの教育アドバイザー23名

イ. 対象者： GAP代表472名（対象地域の236GAPから各2名）

ウ. 研修時期・期間： 10月、6日間

エ. 地方研修センター： 各県ごとに実施する。KadiogoとOubritengaはENEP Loumbila校、SanmatengaとTuyはそれぞれ適当な小学校を研修センターとして利用する。

4. プロジェクト運営体制

（1）中央運営委員会：

ア. 委員長： MEBA 事務次官

イ. 委員²： 基礎教育総局長(DGEB)、教育改革・研修調査センター総局長(DG-CRIEF) 管理・財務局長(DAF)、人事局長(DRH)、調査計画局長(DEP) ENEP-Loumbila 校長、ナショナルコーディネーター、JICAブルキナファソ事務所長、JICA 専門家

（2）地方運営委員会：

ア. 委員長： 州基礎教育局(DREBA)長

イ. 委員： 県基礎教育局(DPEBA)長、CEB長、ローカルコーディネーター

Ⅲ 主な協議事項

1. 中央研修講師

¹ ケニア中等理数科教育強化計画(SMASSE)で開発された生徒中心型授業のアプローチ。

² 中央運営委員会に財務省協力総局長(DG-COOP)を加える方向で今後調整することになっている。

先方案で中央研修対象者とされていた ENEP 教官 20 名について、本プロジェクトにおける役割が不明確であるため、対象者から外すことを当方から提案したのに対し、先方は将来的に SMASE アプローチを教員養成課程に導入することを見据えた投資として ENEP 教官を研修の対象とすることの重要性を繰り返し主張した。協議の結果、ENEP 教官は中央研修対象者からは外し、将来的なプロジェクト対象地域の拡大を考慮して、ENEP 全 5 校の教官最低 1 名を NT とすることで合意した。その結果、先方案では NT に含まれていなかった ENEP3 校から教官各 1 名、計 3 名を加えた合計 23 名を NT とすることとなった。

なお、ナショナルコーディネーター (NC) 1 名、コアトレーナー 7 名 (NC 含む)、NT20 名 (NC、コアトレーナー含み、うち女性 8 名) は大臣から任命済みである。今回追加されることになった 3 名については後日任命される見込みである。

2. 研修の時期と期間

中央研修は 8 月に 10 日間実施することで合意した。現場の教員が対象となる地方研修については、学期末試験 (6 月)、学校の休暇 (7~9 月)、新学期の教員の配置計画の確定 (10 月) など学校のスケジュールを考慮し、10 月に 6 日間実施することとなった。なお、2 県の地方研修センターとなる予定の ENEP Loumbila の校長から、ENEP の新学期が始まる 10 月に地方研修を実施することは難しいとの懸念が示されたが、ENEP が使用不可の場合は他会場の使用を検討し、研修実施時期は変更しないことが確認された³。

なお、GAP における SMASE 研修の実施については、通常 GAP 活動 (GAP によって異なるが年間 5 回以上は行われるようである) のうち最低 2-3 回を SMASE 研修に割り当てることが確認された。具体的な実施回数は各 GAP が年間計画を立てる際にそれぞれ設定することとなった。

3. 地方研修の対象者 (GAP 代表) 数

先方より、初等教育の拡大により、GAP 数が増加傾向にあり、それに伴って地方研修の対象となる GAP 代表者数も増加する可能性が高いことが指摘された⁴。協議の結果、地方研修対象者の増加による予算肥大化を防ぐため、GAP 代表の数を 1GAP につき 3 名から 2 名に減らすことで合意した。また、GAP 代表は既存の GAP コーディネーターや GAP 事務局長から選出することが確認された。当方から、GAP 代表の能力強化の観点からプロジェクト期間中 (3 年間) は同じ GAP 代表が継続的に研修に参加できるよう対策をとることを申し入れたところ、次官から GAP 代表の人事に配慮する旨回答があった。この点に関して、州基礎教育局 (DREBA) や県基礎教育局 (DPEBA) を通じて、継続的にフォローする必要がある。

なお、地方研修対象者となる 1GAP 当りの代表者数の減少により、予算案を変更する必要性が生じたが、先方から、①GAP 数の将来的な増加への対応、②既に当初案に基づいて予算確保の手続きが行われている今の段階で予算案を変更することは困難であること、を理由に予算案を変更しないことが強く要望された。協議の結果、当初案で予算を計上することに合意した。ただし、現実的には毎年研修実施時点における GAP 数をもとに予算を調整していく必要がある。

4. 地方レベルにおける活動のレビューとフィードバック

先方から、プロジェクト活動のレビューと地方レベルにおける実践事例の共有を目的に、

³ ENEP の新学期開始は 10 月 1 日とされているが、入学試験や手続きの遅れなどにより、学期の開始も大幅に遅れることが多い。2007 年は本調査団が ENEP Loumbila を視察した 11 月 19 日が新学期の開始日となっていた。

⁴ 言い換えれば、2007 年の統計をもとに作成された予算案に問題があるとの指摘である。今回の調査のもととなる 2007 年の統計では、対象県の GAP の数は 236 であるが、3 年後には 300 以上に増える可能性があり、予算が不足する可能性が高いことが指摘された。

対象地域の全教育アドバイザーが参加する会合の開催が提案された。当方から、GAP 活動が開始された後、現場からのフィードバックを得ることは重要であり、妥当性は認められるものの、費用対効果を考え、参加者を絞ることを提案した。協議の結果、NT と LT を中心とした 50 名程度が参加するワークショップを 2009 年以降年 1 回開催することで合意した。

5. 予算

Annex I-8-1 にある予算分担の原則のもと、先方の負担率を年々増やし、2010 年には研修実施経費（食費、宿泊費、交通費、講師謝金）をすべて先方負担とすることで合意した（詳細は別添資料 3 Annex I-8 を参照）。当該予算案については、財務省協力総局長にも説明し、合意が得られており、先方のコミットメントは高いと判断される。今後、合意した予算が先方政府予算に具体的な項目として計上されるようフォローすることが必要である。

6. PDM

PDM は、内容的には先方案から大きな変更のない形で合意した（詳細は別添資料 3 ANNEXI-3 を参照）。主な変更点は以下 2 点である。第一に、成果 1 に実施体制の確立と研修コンテンツ作成という 2 つの要素が混在していたため、2 つの成果に分けることとした。第二に、成果 3 に対応する活動として、前述のレビューワークショップを加えた。

なお、数値を伴う指標の一部については、プロジェクト開始後実施されるベースライン調査の結果を受けて設定することが確認された。

7. 対象県の選定基準

当方から対象県の選定基準について確認したところ、以下を考慮して 4 県が選ばれたことが先方から説明された。

- ▶ プロジェクト事務所（首都）からアクセスしやすい。
- ▶ GAP 活動が活発である（GAP から提出される報告書による）。
- ▶ 児童の理数科の成績が低迷している⁵。
- ▶ 地域特性の多様性（Kadiogo=都市部、Sanmetenga・Oubritenga=郊外、Tuy=地方部）。
- ▶ 他のプロジェクトによる干渉がない（少ない）。

8. 中央運営委員会

先方案では JICA は中央運営委員会に参加はするものの委員ではないとされていたため、ステータスを明確にすることを当方から申し入れ、協議の結果、JICA 事務所長と JICA 専門家を委員に加えることに合意した。また、財務省も委員に加えることを提案し、先方関係者の口頭による同意を得た。財務省の委員会参加についてはミニッツへの記載が間に合わなかったため、R/D に記載する方向で調整することを確認した。

9. 地方研修の実施体制

当方から ENEP Loumbila を研修センターとして使用しない Sanmatenga と Tuy の地方研修実施体制について確認したところ、小学校を研修センターとし、県基礎教育局長（DPEBA）を中心に実施する体制であることが先方から説明された。各県は、同様の実施体制で全教員が参加する年次会合など、数百人単位の会議や研修の実施経験を有しており、実施体制に問題はない旨先方からコメントがあった。

また、当該 2 県の研修用機材については DPEBA 事務所に保管することで合意した。なお、DPEBA に提供するコンピュータ（報告書や統計データの作成用）については、必要性や管理体制を JICA 専門家が確認のうえ、供与することが確認された。

⁵ 県別の児童の理数科に関する成績データの提供を先方に依頼した。

IV 留意事項、フォローアップ

以下事項について留意が必要である。プロジェクト開始までに適宜フォローすることを JICA 事務所に依頼する。

1. 中央研修講師

- 新たに加わることとなった 3 名の ENEP 教官の早期任命が望まれる。
- MEBA 管理財務局長から中央研修講師が多すぎるとの指摘を受けて、中央研修実施時に講師謝金を受け取る NT は 10 名となった。教材開発などの準備は 23 名全員で行い、実際に研修で講師を務めるのは 10 名とすることが考えられるが、具体的な役割分担、中央研修の実施方法について、研修実施までに詳細を明らかにする必要がある。

2. モニタリング・評価

- プロジェクト目標の達成度はケニア SMASSE のツールを参考にプロジェクトで開発する ASEI/PDSI 指標によって測ることとなったが、ベースライン調査の実施までに必要なモニタリング・評価ツールの種類と内容、調査の実施方法を明らかにすることが求められる（サンプルの選定方法を含む）。
- 成果 4 の達成度は GAP の活動回数と GAP 活動への教員の参加率で測ることとなった。GAP から提出される報告書からデータを得ることが想定されているため、現在 GAP で使用されている報告書様式を確認のうえ、必要なデータが得られるよう適宜様式の変更や修正を行う必要がある。また、中央研修に GAP 活動のモニタリング・評価方法に関するセッションを組み込むことが望ましい。
- GAP 活動について、GAP からの報告書提出、教育アドバイザーによる通常のモニタリング活動に加え、NT と LT もモニタリングや巡回指導を行うこととなった。手厚いモニタリング体制はプロジェクト活動の質の確保に有効であると考えられるが、モニタリングを行う主体それぞれの役割の違いが不明瞭な部分もあり、コストもかかることから、プロジェクトの進捗状況を見極めつつ、必要に応じて整理することも一案である。

3. GAP の活動状況

- 本調査では不慮の事態により GAP の具体的な活動状況や CEB レベルの教育アドバイザーによるモニタリング評価の現状の体制について確認することができなかった。カウンターパートとともに早期に GAP 活動やモニタリングの現場を視察し、現状を把握する必要がある。

4. その他フォローアップが必要な事項

- 合意した予算案が先方政府予算に具体的な項目として記載されるよう適宜フォローする。
- 財務省の中央運営委員会への参加について、MEBA 次官と財務省協力総局長から口頭で了解が得られているが、実施協議時に再度確認し、R/D に反映させる。
- Sanmatenga と Tuy の地方研修センターとなる小学校を調査のうえ決定する。
- 対象地域における GAP 数の変動について随時先方と情報共有する。
- 地方研修対象者となる GAP 代表がプロジェクト期間中、継続的に研修に参加できるよう DREBA、DPEBA に対してもプロジェクトの目的を説明したうえで人事における配慮を依頼する。
- LT の TOR に「研修モジュールを地方研修用に改訂する」を明記することについて、口頭で先方の同意が得られているが、実施協議時に再度確認し、R/D に反映させる。
- 対象地域選定の妥当性を補強する材料として、児童の理数科成績に関する県別データを入手する。

V 今後のスケジュール（予定）

2007年11-12月	事前評価表の決裁
2007年12月	実施協議・R/D署名 実施計画書の決裁
2008年1月中旬	プロジェクト開始

【別添資料】

1. 調査日程
2. 議事録
3. 署名済 M/M（写）

第二次事前評価調査日程

(会議詳細、出席者については別添資料 2 議事録を参照)

	月日	曜	時間	内容		
1	11/17	土	2105 2200	Ouagadougou 着 石原団長、宮崎団員、山下団員 (AF730) Kariuki 団員 (2J316)		
2	11/18	日	1030 -1900	団内打ち合わせ		
3	11/19	月	0730 0830 1030 1100 -1830	MEBA 大臣表敬 MEBA 次官表敬 JICA ブルキナファソ事務所との打ち合わせ① MEBA との協議① (研修の構造、PDM)		
4	11/20	火	0900 1530 -2130	ENEP Loumbila の視察 MEBA との協議② (PO、予算)		
5	11/21	水	1000 1200 1600	ステークホルダー会議 MEBA との協議③ (予算、今後の予定) JICA ブルキナファソ事務所との打ち合わせ②		
6	11/22	木	0900 1200 PM	MEBA との協議④ (MM 案) 財務省 (協力総局長) との協議 MM 案作成		
7	11/23	金	0900 1030 PM	MM 署名 (MEBA 次官) MM 署名 (財務省協力総局長) 文書整理、報告書作成		
8	11/24	土	AM PM	CEB、GAP 視察 文書整理、報告書作成		
9	11/25	日		文書整理、報告書作成		
10	11/26	月	0900 1230 1500 1700 2340	小学校訪問 JOCV との意見交換 在ブルキナファソ国オランダ大使館との協議 プロジェクト事務所視察、DG-CRIEF との協議		
				石原団長、宮崎団員 Ouagadougou 発 (AF735)	山下団員	Kariuki 団員
11	11/27	火	1945 2200	Ouagadougou 発 (2J103) Niamey 着		
12	11/28	水		1700	Ouagadougou 発 (2J105)	
13	11/29	木		JICA ニジェール事務所、SMASSE-Niger への調査結果報告、協議 SMASSE-Niger 視察		
14	11/30	金	0055	JICA ニジェール事務所、SMASSE-Niger との協議 SMASSE-Niger 視察 Niamey 発 (AF731)		

第二次事前評価調査議事録

1. 件名	: 団内打ち合わせ
2. 日時	: 平成 19 年 11 月 18 日 (日) 10:30-19:00
3. 場所	: JICA ブルキナファソ事務所
4. 出席者	: 【JICA ルワンダ事務所】犀川企画調査員 【調査団】石原団長、Ms. Kariuki、宮崎団員、山下 (記)
5. 内容	: スケジュールと対処方針の確認を行った。

1. 件名	: MEBA 大臣表敬
2. 日時	: 平成 19 年 11 月 19 日 (月) 7:30~8:00
3. 場所	: MEBA
4. 出席者	: 【MEBA】 Ms. Marie Odile BONKOUNGOU Mr. ZONGO Sulemane (National Coordinator / DRDP) 【JICA ブルキナファソ事務所】犀川企画調査員 【調査団】石原団長、Kariuki 団員、宮崎団員、山下 (記)
5. 内容	: 石原団長から調査目的、調査概要について説明した。大臣からの主なコメントは以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 現在ブルキナファソは教育の質の向上に取り組んでおり、小学校では教科書の無料配布を進めている。しかし、教科書があるだけでは教育の質向上は達成されず、教員の教授法の改善が重要である。その意味で SMASE プロジェクトの実施は有意義である。ブルキナファソの子どもたちが SMASE プロジェクトの受益者になることを期待している。 ➤ 他のアフリカ諸国では中等教育レベルを対象に実施されることが多い SMASSE プロジェクトを、ブルキナファソでは優先課題としている初等教育レベルで実施できることを歓迎する。 ➤ (Minister 自ら) プロジェクトの実施運営、予算確保のために必要な支援を行う用意がある。 ➤ 現在、プロジェクトの主要メンバーとなるチームがケニアでの第三国研修に参加している。チームの帰国後、プロジェクトの具体的な実施計画を策定する。 ➤ プロジェクトの準備として JICA と MEBA は何度も協議を繰り返してきた。本プロジェクトについて JICA の熱意、真剣さに感謝する。

1. 件名	: MEBA 次官表敬
2. 日時	: 平成 19 年 11 月 19 日 (月) 8:30~9:00
3. 場所	: MEBA
4. 出席者	: 【MEBA】 Mr. Noraogo Innocent ZABA (Secrétaire Général) Mr. ZONGO Sulemane (National Coordinator / DRDP) 【JICA ブルキナファソ事務所】犀川企画調査員 【調査団】石原団長、Kariuki 団員、宮崎団員、山下 (記)
5. 内容	:

石原団長から調査目的、調査概要について説明した。次官からの主なコメントは以下のとおり。

- 前回の第一次事前評価調査時には非常に有意義な協議ができた。今回も同様に実りある協議が行われ、プロジェクトの具体的な計画が策定されることを期待している。
- ブルキナファソの小学校の就学率は 60%であり、アフリカ諸国のなかでも最も低いレベルにある。そのため、教育の量の拡大に取り組んできたが、同時に教育の質の向上にも努めなければならない。その意味で SMASE プロジェクトは非常に重要であると考えている。政府としての強いコミットメントを約束する。
- プロジェクトにおいてはその実施だけでなく、終了後の活動の持続性が重要であることを認識している。SMASE は既存の GAP 制度を活用するものであり、制度的な持続性に問題は無い。また GAP の活動資金は現在も政府予算に組み込まれており、予算の面での持続性も確保されている。プロジェクトの未来は明るいと信じている。
- 既にケニアで第三国研修に参加した経験を持つ教育行政官も多く、これらの人材がプロジェクト実施において重要な役割を果たすことになる。

1. 件名 : JICA ブルキナファソ事務所との打ち合わせ①
2. 日時 : 平成 19 年 11 月 19 日 (月) 10:30-11:00
3. 場所 : JICA ブルキナファソ事務所
4. 出席者 : 【JICA ブルキナファソ事務所】堀内所長、円谷所員、犀川企画調査員 【調査団】石原団長、Kariuki 団員、宮崎団員、山下 (記)
5. 内容 : 石原団長から調査目的とプロジェクトの概要を説明した。堀内所長からの主なコメントは以下のとおり。 ➤ 予算について、先方負担分として合意したものについては譲るべきではない。実施段階になって当初合意された先方予算が支出されない場合も想定されるが、その場合には次官、大臣レベルに話を持っていき、協力を依頼することが有効である。そのためにも次官、大臣レベルのコミットを引き出すことが重要である。 ➤ 現在無償資金協力による小学校建設案件の調査を行っているが、1 クラスの生徒数が 140 名という事例もあると聞いている。大人数クラスにおける生徒中心型授業の展開はチャレンジングである。(→石原団長から、ブルキナファソの教室の実情に合わせて SMASE アプローチを応用する方法を先方に考えてもらう必要がある旨説明した) ➤ 教育の改善において、量的拡大と質的向上は車の両輪である。ブルキナファソにおいては質の問題に対する具体的な活動は少なく、SMASE プロジェクトによる技術協力は非常に有意義である。

1. 件名 : MEBA との協議① (研修の構造、PDM)
2. 日時 : 平成 19 年 11 月 19 日 (月) 11:00~18:30
3. 場所 : JICA ブルキナファソ事務所
4. 出席者 : 【MEBA】 Ms. TAPSOBA K. Judith (DGEB) Mr. SIRIPE D. Ousmane (DGEB) Mr. BAMOUNI Paul Marie (DAF) Mr. DAO Bayé (DG-CRIEF) Mr. ZONGO Sulemane (National Coordinator / DRDP) 【JICA ブルキナファソ事務所】堀内所長、犀川企画調査員、岡田インターン 【調査団】石原団長、Kariuki 団員、宮崎団員、山下 (記)
5. 内容 :

研修の構造・時期、PDMについて、協議した。主な内容は以下のとおり。

(1) 中央研修講師の人数の変更

- 先方案の中央研修対象者から ENEP 教官を除くことを当方から提案したところ、先方から以下理由により ENEP 教官を含めることが強く主張された。
 - ① 将来的には PRESET にも SMASE アプローチを導入したいと考えている。将来（フェーズ 2）への投資という意味で ENEP 教官が SMASE の哲学を理解しておくことは有意義である。
 - ② ENEP を巻き込むことにより、SMASE アプローチを効率的に普及することが可能にある。
- 当方からは、以下理由により ENEP 教官を中央研修対象者と位置づけることを正当化することは難しい旨説明した。
 - ① 本プロジェクトにおける ENEP 教官の役割が不明確である（研修に参加する以外の活動がない）。
 - ② 本プロジェクトで PRESET に対するフォローアップを行うことは困難であり、ENEP 教官に対する投資は有効なものにはならない。INSET に集中することが望ましい。
 - ③ 1年間に短縮された PRESET カリキュラムに新たな要素として SMASE アプローチを導入することには困難が予想される。
- 協議の結果、ENEP 教官を中央研修対象者から除く代わりに Fada N’gourma、Gaoua、Bobo-Dioulasso の 3ENEP の教官 1 名ずつを中央研修講師に加えることに合意した。これにより、中央研修講師は当初先方案の 20 名から計 23 名に増え、既に指名されている Loumbila と Ouhigouya の ENEP 教官も含め、全 5ENEP が中央研修講師の役割を果たすこととなった。また、中央研修対象者は当初先方案の 163 名から ENEP 教官 20 名を引いた 143 名となった。
- なお、先方からは第 2 フェーズでは全 ENEP 教官を対象グループに含めることが提案されたが、プロジェクト開始後に活動の進捗状況や成果を確認したうえで改めて検討することとなった。

(2) 地方研修講師と GAP 代表の選定基準

- 地方研修講師の選考基準については MEBA 内で改めて協議し決定することとなった。
- GAP 代表については、既存の GAP Coordinator と GAP Secretary に校長代表を加えた 3 名とする方向で調整することとなった。

(3) 研修の期間、頻度、時期

- 先方からの以下が提案された。
 - ・ 期間：中央研修 10 日間、地方研修 6 日間
 - ・ 頻度：各年 1 回。中央研修についてはさらに学期開始直前に 3 日間のリフレッシュメント研修を行う。
 - ・ 時期：中央研修 3 月
- 当方からは以下の点をコメントした。
 - ・ SMASSE 型プロジェクトでは通常研修は年 1 回のみであり、リフレッシュメント研修は実施していない。
 - ・ ベースライン調査、モジュール開発などを考えると、初年度に 3 月から中央研修を実施することは非現実的である。
- 協議の結果、学校の年間スケジュール（6 月：卒業試験、7～9 月：休暇、10 月：教員人事の確定・学期開始）を考慮して以下のとおりとすることに合意した。
 - ・ 期間：中央研修 10 日間、地方研修 6 日間
 - ・ 頻度：各年 1 回。リフレッシュメント研修は実施しない。
 - ・ 時期：中央研修 8 月、地方研修 10 月

(4) 情報・経験の共有のためのワークショップ

- GAP における SMASE 活動の実施状況を共有する目的で、ワークショップを 5 月に開催することになった。期間は 2 日間、参加者は中央研修講師と 4 県の地方研修講師代表者、GAP 代表の代表者とする方向で調整することとなった。

(5) 対象県の選定基準

- 先方から以下を基準に 4 県が選定されたことが説明された。また、対象県 DREBA、DPEBA はプロジェクト実施について了解済である旨コメントがあった。
- ① プロジェクト事務所 (MEBA) からアクセスしやすい。
- ② GAP 活動が活発である (GAP から提出される報告書による)。
- ③ 児童の理数科の成績が低迷している。
- ④ 地域特性の多様性 (Kadiogo=都市部、Sanmetenga・Oubritenga=郊外、Tuy=地方部)。
- ⑤ 他のプロジェクトによる干渉がない (少ない)。
- 当方から、③について理数科試験の成績に関する県別データの提供を依頼し、入手次第共有されることになった。

(6) PDM

先方 PDM 案をもとに協議し、内容について合意した。先方案からの主な修正・追加事項は以下のとおり。

- 成果 1 を、①プロジェクト運営体制の構築、②研修コンテンツの開発に分けて整理した。
- 成果 3 の内容を「研修の実施」から「中央研修講師、地方研修講師、視学官、GAP 代表の能力強化」に変更した。
- プロジェクト目標の達成度について、プロジェクトで開発するモニタリング評価ツールから得られる指標で測ることとした。なお、モニタリング評価ツールについてはケニア SMASSE のものを参考に、仏語・小学校レベルというブルキナファソの特性に合わせて開発することを確認した。
- 成果 4 「GAP において SMASE 活動が実施される」の達成度について、「SMASE 活動に関するアクションプランの作成」「SMASE 活動の実施頻度」「SMASE 活動への教員の参加率」を指標として測ることとした。
- 指標の数値の一部については、ベースライン調査実施後に確定することを確認した。

1. 件名	: ENEP Loumbila の視察
2. 日時	: 平成 19 年 11 月 20 日 (火) 9:00~11:00
3. 場所	: ENEP Loumbila
4. 出席者:	<p>【MEBA】 Mr. Seydou NASSOURI (Directeur Général)</p> <p>【JICA ブルキナファソ事務所】 犀川企画調査員</p> <p>【調査団】 石原団長、Kariuki 団員、山下 (記)</p>
5. 内容	<p>研修センター (Training Center) 候補である ENEP Loumbila を訪問し、Mr. NASSOURI と協議した後、校内施設を視察した。主な内容は以下のとおり。</p> <p>(1) Mr. NASSOURI との協議</p> <p>石原団長から調査目的と昨日の MEBA との協議における合意事項を説明した。先方からの主なコメントは以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 8 月に予定されている中央研修には問題なく施設を利用できる。休み期間中であり、寮の使用が可能である。 ➤ 一方、10 月初旬に地方研修を実施することは難しい。10 月 1 日から新学期が始まることになっており、学生が使用していれば寮が使えない可能性がある。 ➤ 寮の収容可能人数は 400 名程度である。Kadiogo, Oubritenga, Sanmatenga の 3 県の地方研修 (参加者合計約 600 名) をまとめて行うことはできない。2 回に分ければ問題ない。 ➤ 理数科の教授だった経験から理数科の重要性は認識している。教員の教授法の改善は教育の質の向上に不可欠である。 ➤ 教員養成課程が 2 年間から 1 年間に短縮された際、INSET を強化することで教員の質を確保する計画であったが、うまくいっていない。SMASE によって INSET が補強されることを期待している。 <p>(2) 施設の視察</p>

研修センターとして使用するために必要な施設は十分備えている。主な施設は以下のとおり。

➤ 食堂・台所

- ・ 食堂はL字型であるが、300名程度の収容力がある。大講堂として利用可能である。
- ・ 台所は一度に350名分の食事を作ることができる。

➤ 寮

- ・ 350名の宿泊が可能である。また、私費学生（⇔奨学生）対象の寮が別にあり（附属小学校敷地内）、80名の宿泊が可能である。
- ・ 16棟あり、棟は男女別になっている。2棟で一つのトイレ・シャワー棟を共有している。
- ・ 1棟当たりの部屋数は6あるいは8である。視察した部屋は4人部屋で、二段ベッドが1台、シングルベッドが2台置かれていた。入寮者にはベッドマットレス、蚊帳、アイロン、鍋（食食用）が貸し出される。

➤ 教室

- ・ 12教室あり、1教室平均45名の学生で授業が行われている（最大60名収容可能）。
- ・ 机・いす、黒板などは非常にきれいである。

➤ 図書館

- ・ 会議室を兼ねた読書室、コンピュータ室を備えている。コンピュータ室ではインターネット利用が可能であり、学生は文書作成や資料検索に利用している。フランスの援助による10台以上のパソコンが配置されていたが、壊れたものも多く、視察時に動いていたのは2台のみであった。
- ・ 図書室はよく整理されていたが、400名以上の学生が利用することを考えると蔵書は少ない。
- ・ 利用されていない部屋もあり、研修用機材の収納場所として利用することが可能である。

➤ 教材製作ワークショップ

- ・ オランダの援助で建てられたもので大型体育館並みの広さがある。
- ・ ワークショップには教材作成用の様々な工作機械が備わっている。また、講義室と大型TVを備えた部屋があり、TVは教材の作成過程を撮影したビデオを視聴するために使われるという。施設、機材はいずれもきれいで頻繁に使われている様子ではなかった。

➤ 付属小学校

- ・ 付属小学校が併設されており、学生が授業観察、教育実習を行っているという。日本の無償資金協力によって建てられた校舎も含め、2棟が教室として利用されている。1棟は3教室からなり、1教室あたりの児童数は約50名である。

1. 件名 : MEBA との協議② (PO、予算)
2. 日時 : 平成19年11月20日(火) 15:30~21:30
3. 場所 : JICAブルキナファソ事務所
4. 出席者 : 【MEBA】 Ms. SALOU Marie Aubin (Director, DAF) Mr. BAMOUNI Paul Marie (DAF) Mr. ZONGO Sulemane (National Coordinator / DRDP) 【JICAブルキナファソ事務所】 犀川企画調査員 【調査団】 石原団長、Kariuki 団員、宮崎団員、山下(記)
5. 内容 : 前日合意した事項をもとにPO、予算について協議した。 (1) 前日のフォロー Mr. ZONGO から前日の懸案事項のフォロー状況について以下のとおり説明があった。 ➤ 地方研修講師の選定基準を以下のとおり設定した。 <ul style="list-style-type: none">・ 対象地域の視学官あるいは教育アドバイザーであること

- ・ ワーキンググループをファシリテートした経験があること
 - ・ 研修講師としての能力を有すること
 - ・ 教員を指導した経験が3年以上あること
- 情報・経験の共有のためのワークショップの参加者は以下のとおり。
- ・ 中央研修講師（23名）
 - ・ 地方研修講師の代表2名×4県
 - ・ GAP代表2名×4県
 - ・ 対象地域のDREBA及びDPEBA（計8名）
- 地方研修センターとしてENEP-Loumbilaを使用しないSanmatenga、Tuyについては小学校を使用する。宿泊先は近隣の宿舎を利用し、研修用機材はDPEBAで管理する。
- (2) モジュール開発
- 先方からはモジュール開発のために中央研修講師23名全員が参加する10日間のワークショップを実施することが提案された。当方から作業の効率性や費用対効果の観点から再考を促した。
- 協議の結果、モジュール開発には中央研修講師全員が携わるものの、ドラフト作成は少人数のグループワークを中心に行い、関係者が一堂に会するワークショップはドラフトを講師間で共有する場、あるいはMEBAが承認する場とすることに合意した。
- モジュール開発や中央研修の実施の際に招聘する第三国専門家について、事前に電子メールなどを通じて専門家と密に情報共有することで招聘期間を必要最小限とすることが先方から提案された。
- なお、地方研修については第三国専門家を招聘しないで実施することとなった。
- (3) 研修講師の謝金
- 中央研修、地方研修ともに研修実施期間中は講師に対して謝金を支払うことが先方から提案された。
- 当該経費については先方が負担することで合意したが、中央研修については研修対象者数に比べて講師数が多いことをMs. Salouに指摘され、謝金は23名の中央研修講師のうち10名のみ計上することとなった。10名をどのように選定し、他の13名とどのように役割分担するのかについては明らかにされなかったため、実際に研修が実施されるまでに確認する必要がある。
- (4) 地方レベルに対するMEBAからの支援
- 地方研修やGAP活動について、中央研修講師が地方を巡回し、地方研修講師やGAP代表を直接指導することが先方から提案された。
- 当該活動に伴う交通費（燃料費）等は先方が負担することとなった。
- (5) 啓発活動
- 先方からプロジェクト活動として算数・科学オリンピックを実施することが提案されたが、現段階では計画に具体性がないことから、プロジェクト開始後に状況を見ながら再検討することとなった。
- 先方からパンフレット作成、官報の配布を通じてプロジェクトを広報することが提案された。当該活動に係る経費はJICAが負担することとなった。
- (6) パソコン機材供与
- 地方研修用機材（特に小学校を地方研修センターとして使用する場合）の管理に困難が予想されることから、当方からノートパソコンはプロジェクト事務所で管理し、デスクトップも含め供与数を最低限とすることを提案した。
- これに対し、先方は対象各県にデスクトップとノートパソコンの両方を配備する必要性を強く主張した。協議の結果、予算執行の際には1台1台のパソコンについて用途、管理方法、管理責任の所在を明確にすることを前提条件とすることで、各県に配備できるよう購入経費をプロジェクト予算に計上することで合意した。
- (7) その他
- POには主要な活動のみが記載されているため、先方からすべての活動を網羅する活動計画が必要である旨コメントがあった。詳細計画についてはプロジェクト開始後、第1回国家運営委員会までに策定することとなった。

1. 件名	: ステークホルダー会議
2. 日時	: 平成19年11月21日(水) 10:00~11:30
3. 場所	: JICAブルキナファソ事務所
4. 出席者:	<p>【MEBA】 Mr. ZABA N. Innocent (SG) Mr. KONATE Seydou (DEP) Mr. SIRIPE D. Ousmane (DGEB,) Mr. DAO Bayé (DG-CRIEF) Mr. ZONGO Sulemane (National Coordinator / DRDP) Mr. BAMOUNI Paul Marie (DAF) Mr. BELOUM Saydou (DRH) Mr. Servace Maryse DABOU (DCPM) Mr. NASSOURI Seydou (ENEP Loumbila) Mr. KORBEOGO Sibiri (DREBA Centre) Ms. ZONGO Estelle (DPEBA Kadiogo) Ms. SAWADOGO Antoinette (CEB Boulmiougou) 【JICAブルキナファソ事務所】 犀川企画調査員 【調査団】 石原団長、Kariuki 団員、宮崎団員、山下 (記)</p>
5. 内容	<p>Mr. Zongo から今回調査における合意事項、変更事項を中心にプロジェクトの概要を説明した。質疑応答の主な内容は以下のとおり。</p> <p>(1) 地方研修の実施時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ Kadiogo、Oubritenga の地方研修センターとなる ENEP-Loumbila 校長から、新学期が始まっている10月に地方研修を実施することは困難であるとのコメントがあった。 ➤ これに対し、次官から、新学期の教員配置が確定した10月が地方研修実施時期として最適であり、ENEP Loumbila が使用不可の場合は他の施設の使用を検討することが提案され、同案で合意が得られた。 <p>(2) GAP 数</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 先方から、初等教育の拡大に伴って GAP 数が増加傾向にあることが指摘された。 ➤ 当方から、GAP 増加によって研修対象者数が増大すれば、研修運営(質の確保)が困難になること、また予算負担が大きくなることを指摘したうえで、対象地域の全 GAP を対象とする代わりに1GAP 当たりの対象者数を3名から2名に減らすことを提案し、合意を得た。 ➤ GAP の数は今後も変動が予想されることから先方がモニタリングし、随時当方と情報共有することとなった。 <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ PDM の成果2の指標 2a の表現について、先方提案により「教員のニーズに関するベースライン調査の結果が分析される (analyzed)」から「...が得られる (available)」に変更された。 ➤ 会合終了に際しての次官の挨拶の中で以下のコメントがあった。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員にとって INSET の必要性は高い。 ・ 社会情勢の変化に伴って教育ニーズも変化しており、時代に合った教育が求められている。その意味で教員が常に学び続けることは重要である。 ・ SMASE プロジェクトの計画が具体化され、動き出そうとしていることを嬉しく思う。

1. 件名	: MEBA との協議③ (予算、今後の予定)
2. 日時	: 平成19年11月21日(水) 12:00~13:00

3. 場所 : JICA ブルキナファソ事務所
4. 出席者 : 【MEBA】 Mr. BAMOUNI Paul Marie (DAF) Mr. ZONGO Sulemane (National Coordinator / DRDP) 【JICA ブルキナファソ事務所】 犀川企画調査員 【調査団】 石原団長、Kariuki 団員、宮崎団員、山下 (記)
5. 内容 : (1) 研修対象人数の変更に伴う予算案 ➤ 午前中の会議で地方研修対象者となる GAP 代表の人数が減少したことにより、予算案に変更が生じた。しかし、先方では変更前の予算案で既に 2008 年度予算確保の手続きが開始されていることから、研修構造図では人数の変更を反映させるものの、予算案は変更しないことで合意した。 ➤ 現時点における最新の GAP 数を先方が確認次第、当方に情報共有することとなった。 (2) 今後の予定 ➤ プロジェクト開始までのスケジュールを確認した。

1. 件名 : JICA ブルキナファソ事務所との打ち合わせ② (M/M への財務省の署名について)
2. 日時 : 平成 19 年 11 月 21 日 (水) 16:00-16:30
3. 場所 : JICA ブルキナファソ事務所
4. 出席者 : 【JICA ブルキナファソ事務所】 堀内所長、土井企画調査員、犀川企画調査員 【調査団】 石原団長、Kariuki 団員、宮崎団員、山下 (記)
5. 内容 : ➤ 堀内所長より、予算に関して財務省のコミットを確保するため、M/M に同省協力総局長の署名を得ることが提案された。 ➤ 当方から署名は明後日に予定されており、急に説明し依頼をすることとなるため、失礼のないよう配慮する必要がある旨コメントした。 ➤ 協議の結果、財務省の署名が得られるよう調整することとなった。

1. 件名 : MEBA との協議④ (M/M 案)
2. 日時 : 平成 19 年 11 月 22 日 (木) 9:00-11:30
3. 場所 : JICA ブルキナファソ事務所
4. 出席者 : 【MEBA】 Mr. ZONGO Sulemane (National Coordinator / DRDP) 【JICA ブルキナファソ事務所】 犀川企画調査員 【調査団】 石原団長、Kariuki 団員、宮崎団員、山下 (記)
5. 内容 : (1) プロジェクト名称 ➤ 先方の指摘により、要請書のプロジェクト名称と先方で使用しているプロジェクト名称に若干の違いがあることが明らかとなった。 ➤ 先方から正式名称を現在先方で使用されている名称に合わせることを要望されたが、当方からプロジェクト名称は既に国際約束が交わされており、変更は困難である旨説明した。 ➤ 先方で使用されている名称を要請書記載の名称に改める方向で調整することとなった。 (2) 中央運営委員会 ➤ 当方から、先方案をもとに作成した中央運営委員会構成案においては JICA のステータス

<p>が明らかではないことを指摘し、委員に JICA 事務所長と JICA 専門家を加えることを提案した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 先方からは既に出された省令では JICA は委員とはなっていないことから委員ではなく「参加者」として整理したい意向が示された。 ➤ 本件については当方から次官に直接要望し、調整することとなった。
--

1. 件名 : 財務省との協議
2. 日時 : 平成 19 年 11 月 22 日 (木) 12:00-12:30
3. 場所 : 財務省
4. 出席者 : 【財務省】 Mr. Lene SEBGO, Director General of Cooperation Mr. Bila Raphael KABRE, Direction of Cooperation 【MEBA】 Mr. ZONGO Sulemane (National Coordinator / DRDP) 【JICA ブルキナファソ事務所】 堀内所長、犀川企画調査員 【調査団】 石原団長、Kariuki 団員、宮崎団員、山下 (記)
5. 内容 : 堀内所長、石原団長から調査の進捗状況とプロジェクトの概要を説明したうえで、プロジェクトに係る先方予算の確保について協力を依頼した。併せて 23 日に署名予定の M/M の署名者に加わることを要請したところ、快諾を得た。先方からの主なコメントは以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 教育分野は MDGs の達成にとっても重要であり、ブルキナファソの最優先課題である。特に喫緊の課題である教育の質の向上のために現職教員研修は有効であると認識しており、プロジェクトに期待している。 ➤ 技術協力である本プロジェクトについて、実施経費をブルキナファソが負担することは当然であり、予算の適切な確保をサポートする。日本の技術的支援によりプロジェクトが成功することを願っている。 ➤ プロジェクト文書が完成すれば財務省として署名し、コミットすることに問題はない。

1. 件名 : M/M 署名 (MEBA)
2. 日時 : 平成 19 年 11 月 23 日 (金) 9:00-10:30
3. 場所 : MEBA
4. 出席者 : 【MEBA】 Mr. ZABA N. Innocent (SG) Mr. ZONGO Sulemane (National Coordinator / DRDP) 【JICA ブルキナファソ事務所】 堀内所長、犀川企画調査員、r 在外専門員 【調査団】 石原団長、Kariuki 団員、宮崎団員、山下 (記)
5. 内容 : ➤ 石原団長から、財務省協力局長の M/M への署名、中央運営委員会への JICA 事務所長と JICA 専門家の追加について説明し、両事項について次官の合意を得た。 ➤ 中央運営委員会の構成とその他表現の微修正を行った後、次官と石原団長が M/M に署名した。

1. 件名 : M/M 署名 (財務省)
2. 日時 : 平成 19 年 11 月 23 日 (金) 10:30-11:00
3. 場所 : 財務省

<p>4. 出席者：</p> <p>【財務省】 Mr. Lene SEBGO, Director General of Cooperation 【MEBA】 Mr. ZONGO Sulemane (National Coordinator / DRDP) 【JICA ブルキナファソ事務所】 犀川企画調査員、Bissiri HAOUA 在外専門調査員 【調査団】 石原団長、Kariuki 団員、宮崎団員、山下（記）</p>
<p>5. 内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 石原団長から中央運営委員会への財務省の参加を要請し、先方の了解が得られた。先方から、基本的にすべてのプロジェクトの運営委員会に財務省は参加している旨コメントがあった。 ➤ 協力総局長と石原団長が M/M に署名した。 ➤ 先方から SMASE プロジェクトの研修によるブルキナファソの人材育成が計画通り行われることを期待しており、財務省としても実施をサポートする旨コメントがあった。

1. 件名： CEB 及び GAP の視察
2. 日時： 平成 19 年 11 月 24 日（土）9:30-11:00
3. 場所： Zinoire CEB
<p>4. 出席者：</p> <p>【MEBA】 Mr. ZONGO Sulemane (National Coordinator / DRDP) CEB（Zinoire）視学官 GAP メンバー 約 70 名 【JICA ブルキナファソ事務所】 犀川企画調査員、Bissiri HAOUA 在外専門調査員、岡田インターン 【調査団】 石原団長、Kariuki 団員、宮崎団員、山下（記）</p>
<p>5. 内容：</p> <p>（1）Zinoire CEB 事務所の視察</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 事務所には昨日供与されたばかりというパソコンが設置され、各校の連絡ボックスがあった。 ➤ 併設されている教室では成人識字教室が行われていた。 <p>（2）GAP の視察</p> <p>Zinoir CEB の 3GAP 合同の会合に参加した（対象校数：18 校、出席者数：約 70 名）。ただし、当該 GAP の有力者に不幸があったため、通常の GAP 活動は取りやめとなり、視察団のための特別会合という形であることが先方から説明された。石原団長と Mr. Zongo から調査の目的やプロジェクトの概要について説明し、質疑応答を行った。本視察を通して得られた情報は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ GAP 執行部はコーディネーター、事務局長、事務局長補佐、会計などで構成される。執行部は選挙によって選ばれ、任期は 1 年である。 ➤ GAP コーディネーターの主な機能は以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ・教授法の改善に関する指導 ・地域や父母に関する社会的な問題の解決 ・GAP 活動の運営 ➤ 教員の能力向上のために教員同士が学びあう授業研究的なアプローチが有効であることは認識されており、GAP 活動において実際に模擬授業をもとに教員同士が意見交換を行っているとのコメントがあった。 ➤ 昨年度の GAP 活動について、はじめは定期的には実施されたが、MEBA からの GAP 支援経費が適切に支出されなかったために、後半は活動を行うことができなかったという不満も聞かれた。なお、通常 GAP 活動は月 1～2 回行われることになっており、当該 3GAP は 10 月以降既に 2 回活動を行ったことが報告された。 ➤ GAP ではスポーツや文化活動の教授法に関する指導も行われているとのコメントがあっ

た。
➤ GAP 活動に対する父母会などによる支援はないとのことであった。その理由として父母に経済的余裕がないことが挙げられた。
➤ 教員が抱える課題として、100 名以上の大規模学級のマネジメントの困難さが挙げられた。

1. 件名 : 小学校の視察
2. 日時 : 平成 19 年 11 月 26 日 (月) 9:00-12:00
3. 場所 : Wend-Panga 小学校、Boulmiougou Evangelique 小学校(Boulmiougou CEB)
4. 出席者: 【MEBA】 Mr. ZONGO Sulemane (National Coordinator / DRDP) Ms. SAWADOGO Antoinette (CEB Boulmiougou) 【JICA ブルキナファソ事務所】犀川企画調査員、岡田インターン 【調査団】石原団長、Kariuki 団員、宮崎団員、山下 (記)
5. 内容 : 公立校、私立校を 1 校ずつ視察した。 (1) Wend-Panga 小学校 (公立) ➤ 2 年生の算数の授業を視察した。1 クラスは 88 名 (全員出席)。児童は教科書・ノートは出さず、ノート代わりの黒板と数え棒を使っていた。 ➤ 基本的に教師が問題を口頭で説明するかあるいは黒板に板書し、児童はその答えを黒板に書く形で授業が進んだ。大規模クラスではあるものの、児童への発問、理解の確認も効果的に行われており、よく計画された授業であった。 ➤ 教師はしっかりとした指導案を作成していた。指導案に基づいて教員同士による授業研究的な活動も行われているといい、授業観察のための記入フォーマットもあるというコメントがあった。 (2) Boulmiougou Evangelique 小学校 (私立) ➤ 6 年生の理科の授業を視察した。1 クラス 39 名で 2/3 近くが女子児童であった。 ➤ 教室にパソコンがあるなど教室備品はそろっており、クラスの規模など、先に視察した公立校に比べて学習環境は格段に良い印象を受けた。児童は制服を着用しており、全員教科書とノートを持っていた。 ➤ 小学校修了試験について、昨年度の卒業生 46 名のうち 43 名が合格しており、全国平均 69%、Kadiogo 県平均 62%と比べて非常に高い合格率であった。ブルキナファソで最高水準の学校である。 ➤ 授業は前日の復習から始まり、適宜児童の理解を確認しながら進められ、最後には授業のまとめが行われるなど、よく計画された質の高いものであった。板書、発問、理解の確認、生活に結びついた事例紹介などが効果的に組み合わせられていた。 ➤ 授業視察の後、校長や教師へのインタビューを行った。主な内容は以下のとおり。 ・ 校内では教員同士が授業を観察し、授業後に振り返りを行う授業研究的な現職教員研修の実践が行われている。 ・ GAP 活動について、以前は活発に行われていたこともあるが、現在はほとんど実施されていない。教員が GAP 活動に参加するインセンティブがない。校長から、教員の GAP 活動への参加を促進するためには、経済的な支援と教材・器材の補助が必要であるとのコメントがあった。これに対し、当方から、SMASE では研修の質を高めることで教員の参加を促進する戦略であることを説明した。

1. 件名 : JOCV との意見交換
2. 日時 : 平成 19 年 11 月 26 日 (月) 12:30-13:30
3. 場所 : Ouagadougou 市内レストラン

<p>4. 出席者： 【JOCV 小学校教諭】 小林亜希隊員、小泉明德隊員 【JICA ブルキナファソ事務所】 犀川企画調査員 【調査団】 石原団長、Kariuki 団員、宮崎団員、山下（記）</p>
<p>5. 内容： JOCV2 名から小学校の現場の状況や GAP 活動の実情について情報収集した。JOCV を通じて確認された主な内容は以下のとおり。 (1) 小泉 JOCV（ガウアの小学校で活動） ➤ 昨年度は MEBA からの支援金が支出されなかったこともあり、GAP 活動は行われなかった。本年度は、年間活動計画の作成は行われ、自身も図工や体育、生産活動の指導法改善に関する活動を提案した。今後具体的な活動が行われることになるが、MEBA からの支援金が支出されなければ活動が滞る可能性もある。 ➤ GAP が行われるのは平常授業が行われている土曜日午前中であり、授業研究的な模擬授業を行うことは可能である。 ➤ 地方では 100 名を超える大規模クラスは少ないが、50～60 名から成る複式学級は珍しくない。 (2) 小泉 JOCV（マンガの小学校で活動） ➤ GAP 活動については聞いたことがなく、全く行われていないと考えられる。 ➤ APU（PTA に当たる）が活発に動いており、学校菜園作りに経済的支援が得られた。学校菜園がうまくいけば給食も APU が支援することが検討されている。なお、同地域では WFP が活動している。</p>

1. 件名： 在ブルキナファソ国オランダ大使館との協議
2. 日時： 平成 19 年 11 月 26 日（月）15:00-16:00
3. 場所： 在ブルキナファソ国オランダ大使館
<p>4. 出席者： 【在ブルキナファソ国オランダ大使館】 Mr. ONNO Koopman Mr. L. KABORE 【JICA ブルキナファソ事務所】 犀川企画調査員 【調査団】 石原団長、Kariuki 団員、宮崎団員、山下（記）</p>
<p>5. 内容： 教育分野のパートナー実務者会合（PTF）の議長であるオランダを訪問した。石原団長から JICA の教育協力の概要と、SMASE プロジェクトの概要を説明した。先方からの主なコメント、質疑応答の内容は以下のとおり。 (1) プロジェクト概要 ➤ ブルキナファソにおいて教育のアクセス拡大と質の向上は共に重要な課題である。日本は小学校建設などでアクセス拡大に貢献してきたが、今回のプロジェクトを通じた質の向上への貢献を歓迎する。 ➤ 基礎教育開発 10 年計画（PDDEB）の行動計画においても GAP の強化や教員の能力開発は非常に重要な課題と位置づけられており、オランダとしても重視している。当該分野で協力できることを嬉しく思う。 ➤ 昨年度は教育開発予算の 69%がアクセス拡大、25%が質の向上に割り当てられた。本年度は質の向上に関係する予算が 40%となっており、予算面ではアクセスと質の双方に対する取り組みのバランスが取れてきた。 ➤ 先方から研修の内容について質問されたのに対し、当方から、ケニア SMASSE を参考に教授法の改善に取り組むこと、カウンターパートである教育改革・研修調査センター総局（DG-CRIEF）が先日までケニアでの研修に参加しており研修内容についても協議を行ったことを説明した。 ➤ 先方から、現在 GAP 活動が活発でない理由として金銭的インセンティブがないことが挙</p>

げられ、対策を質問されたのに対し、当方から GAP 活動における研修の質を高めることで教員の参加を促進する戦略であることを説明した。

(2) プロジェクトの将来的な拡大

- 先方からプロジェクトの長期的な方向性について質問がされたのに対し、当方からはパイロット地域の成果を踏まえて制度化、全国展開を目指していることを説明した。
- 先方から他の事例を引き合いに出しながら、(プロジェクトの開始時と終了時だけでなく) 随時パートナーにプロジェクト情報を共有することの重要性が強調された。他パートナーの理解を得ることは、将来の全国展開にかかる資金の確保に有効であるとのコメントがあった。
- 先方から、パートナーとのプロジェクトに関する情報共有について、まずは PTF の教育の質に関する作業部会 (4 つある作業部会のうちの 1 つ) で共有し、その後パートナー全体に説明することが効果的である旨コメントがあった。

(3) その他

- 先方から、ブルキナファソでは財政支援が進んでおり、教育分野においてユニセフもバスケットファンドに資金を支出したことが説明された。
- 先方から、オランダがブルキナファソの FTI 事務局を担当することになっており、事務局運営について日本の協力を得たいとの依頼があった。
- 先方から、オランダと日本は FTI の次期共同議長を務めることになっていることから、今後連携関係を一層強化していきたい旨コメントがあった。

1. 件名 : DG-CRIEF 訪問

2. 日時 : 平成 19 年 11 月 26 日 (月) 17:00-17:30

3. 場所 : DG-CRIEF

4. 出席者 :

【MEBA】

Ms. SANOU Bernadette DAO (Director General, DG-CRIEF)

Mr. DAO Bayé (DG-CRIEF)

Mr. ZONGO Sulemane (National Coordinator / DRDP)

【JICA ブルキナファソ事務所】犀川企画調査員

【調査団】石原団長、Kariuki 団員、宮崎団員、山下 (記)

5. 内容 :

プロジェクト事務所を視察した後、Ms. Sanou と協議した。主な内容は以下のとおり。

(1) プロジェクト事務所視察

- プロジェクト用に事務所 2 室 (専門家と NC 用) 及び会議室が提供される予定である。会議室は 23 名の NT が集まって会議、作業するのに十分な広さがある。
- なお、いずれの部屋も現在は不使用あるいは倉庫として使用されており、相当の改修が必要であることが確認された。

(2) Ms. Sanou との協議

先方からの主なコメントは以下のとおり。

- 半年間にわたって準備してきたプロジェクトの調査が無事に終了したことを嬉しく思う。
- ケニアでは 10 名の研修参加者それぞれが指導案のドラフトを作成した。こうした指導案が教室現場で有効に機能するか、実証する必要がある。
- ケニアでの研修は非常に有意義で、同じく初等レベルでプロジェクトが開始されようとしているセネガルからの参加者とも情報共有や意見交換を行うことができた。
- 通常 SMASSE における「ASEI」の「I」は「Improvisation」を表すが、当プロジェクトにおいては、意味は変わらないが教員にとって理解しやすい「Initiative」を表すこととした。 (当方から問題ない旨コメントした)。

1. 件名	: JICA 事務所長報告
2. 日時	: 平成 19 年 11 月 26 日 (月) 18:00-19:00
3. 場所	: JICA ブルキナファソ事務所
4. 出席者	: 【JICA ブルキナファソ事務所】堀内所長、犀川企画調査員 【調査団】石原団長、Kariuki 団員、宮崎団員、山下 (記)
5. 内容	: 石原団長から調査結果を報告した。所長からの主なコメントは以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ ブルキナファソ、セネガル、ニジェールで SMASSE 関連プロジェクトが実施されることになり、仏語圏アフリカ間協力としての発展が期待される。 ➤ 本邦研修を効果的に活用したい。仏語圏の地域別研修の整備を依頼したい。(石原団長から、人間開発部としてはプロジェクトの観点から本邦研修を戦略的に利用する取り組みを行っている旨説明した。) ➤ 学校レベルでの JOCV との連携も期待したい。(石原団長から、JOCV をプロジェクトの枠内には取り込まず、結果的に相乗効果が生まれるような形が望ましい旨コメントした。) ➤ オランダから協力依頼のあったブルキナファソにおける FTI 事務局への協力については事務所のキャパシティや FTI に対する日本の体制を考えると慎重に対応せざるを得ない。協力の可否について早い時期にオランダ側に回答することとしたい。

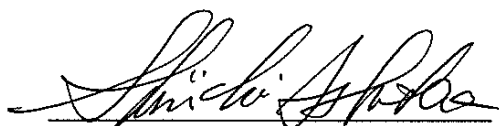
**MINUTES OF MEETING BETWEEN
THE JAPANESE PREPARATORY STUDY TEAM AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF
THE GOVERNMENT OF BURKINA FASO ON
JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR
PROJECT OF TEACHERS TRAINING IMPROVEMENT IN SCIENCE AND
MATHEMATICS AT THE PRIMARY LEVEL
(SMASE – BURKINA FASO)**

The Second Japanese Preparatory Study Team (hereinafter referred to as “Team”), organized by Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as “JICA”) and headed by Mr. Shinichi ISHIHARA, visited Burkina Faso from November 17 to 26, 2007 in order to finalize the design of the Project of Teachers Training Improvement in Science and Mathematics at the Primary Level (hereinafter referred to as “Project”).

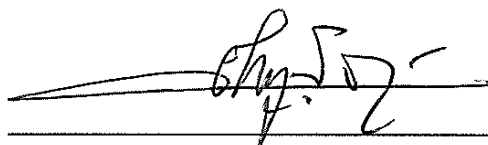
During its stay in Burkina Faso, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Ministry of Basic Education and Literacy (MEBA) (hereinafter referred to as “Burkina side”) on the formulation of the Project. As a result of the discussions, both the Burkina side and the Team drew up the programme in the document attached hereto.

This Minutes of Meeting has been prepared in French and English languages, each text being equally authentic. In case of any divergence in the original translation, the original text in either of both languages may be modified as appropriate upon further consultation and agreement between the two parties.

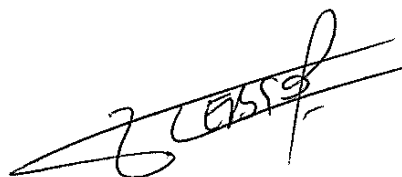
Ouagadougou, November 23, 2007



Mr. Shinichi ISHIHARA
Leader
Japanese Preparatory Study Team
Japan International Cooperation Agency
Japan



Mr. Noraogo Innocent ZABA
Secretary General
Ministry of Basic Education and Literacy
Burkina Faso



Mr. Léné SEBGO
Director General for Cooperation
Ministry of Economy and Finance
Burkina Faso

ATTACHED DOCUMENT

LIST OF PARTICIPANTS

The discussions between Burkina side and JICA regarding the Project were held in Ouagadougou from November 19th to 23rd, 2007. Participants are listed below.

Burkina Faso side

MEBA

Mr. ZABAN. Innocent, Secretary General

Ms. TAPSOBA K. Judith, Director General of Basic Education (DGEB)

Mr. NASSOURI Seydou, Director General, Primary Teachers' Education Schools (ENEP)
Loumbila

Mr. KONATE Seydou, Director of Study and Planning (DEP)

Ms. SALOU Marie Aubin, Director of Administration and Finance (DAF)

Mr. DAO Bayé, Director of Research and Pedagogy Development (DRDP) General
Directorate of the Centre of Research, Educational Innovation, and Training (DG-CRIEF),

Mr. DABOU Servace Maryse, Director of Communication and Ministerial Press (DCPM),

Mr. KORBEOGO Sibiri, Regional Director of Basic Education and Literacy (DREBA)
Centre

Ms. ZONGO Estelle, Provincial Director of Basic Education and Literacy (DPEBA) Kadiogo

Mr. SIRIPE D. Ousmane, DGEB

Mr. BAMOUNI Paul Marie, DAF

Mr. BELOUM Saydou, DRH

Ms. SAWADOGO Antoinette, Pedagogic Advisor, District of Basic Education (CEB)
Boulmiougou

Mr. ZONGO Sulemane, National Coordinator / DRDP, DGCRIF

Ministry of Economy and Finance

Mr. Lene SEBGO, Director General of Cooperation

Mr. Bila Raphael KABRE, Direction of Cooperation

The Japanese side

JICA Preparatory Study Team

Mr. Shinichi ISHIHARA, Director, Basic Education Team II, Group I (Basic Education),
Human Development Department, JICA

Ms. Mary KARIUKI, Subject Head, Biology Education Department, CEMASTEPA, Kenya

Mr. Takeshi MIYAZAKI, Senior Advisor, Basic Education Team II, Group I (Basic
Education), Human Development Department, JICA

Mr. Chigiru YAMASHITA, Officer, Basic Education Team II, Group I (Basic Education),
Human Development Department, JICA

JICA Burkina Faso Office

Mr. Yoshio HORIUCHI, Resident Representative

Mr. Shuhei SAIKAWA, Project Formulation Advisor (Education)



I. SUMMARY OF DISCUSSIONS

On the basis of the proposal of the Project jointly prepared by the Burkina side and JICA, the two parties have discussed and agreed on the training structure, Project Design Matrix, Plan of Operation, budget, etc. The details of the agreed documents are attached in Annex I. The major changes that have been agreed upon are as follows:

1. National Trainers

It has been agreed that one (1) Trainer from each of the three (3) Primary Teachers' Education Schools (ENEP) of Bobo-Dioulasso, Fada N'gourma and Gaoua, also be part of the National Trainer Team, in view of future expansion in other parts of the country. As a consequence, the number of National Trainers is increased from twenty (20) to twenty-three (23), including seven (7) ENEP trainers (three from ENEP-Lumbila, one from other four ENEPs).

2. Period and Duration of Training

The two parties have discussed on the period and duration of the National Training and the Local Training and have agreed as follows;

- First, the National Training is to be held in August for a duration of ten (10) days
- Second, the Local Training is to be held in October for a duration of six (6) days

3. Representatives of Pedagogy Groups (GAP)

It was noted that the number of GAP increases every year because of rapid expansion of primary education in the country, and this may affect the implementation of the Local Training. In order to accommodate the increasing number of GAPs during the Project period, it has been agreed that the Local Training target two (2) representatives of each GAP, instead of three (3).

4. Experience Sharing Workshop

It was proposed and agreed that an Experience Sharing Workshop shall be held each year, starting from 2009, to receive feedback on training from all areas of the Project. The total number of participants of the workshop shall be fifty (50) as shown below;

- 1 representative of Local Trainers and the Local Coordinator per province
- 2 representatives of GAP per province
- 4 Regional Directors of Basic Education and Literacy (DREBA)
- 4 Provincial Directors of Basic Education and Literacy (DPEBA)



- 23 National Trainers
- 2 representatives of National Steering Committee
- JICA Expert

5. Budget Analysis

The Government of Burkina Faso shall make the identified contributions over the period of three years. JICA will supplement the Government inputs in the form of Project-type support. Both sides have agreed on the cost sharing between the Burkina side and JICA as shown below:

	2008	2009	2010	Total (FCFA)
JICA	164,430,000	84,385,000	68,395,000	317,210,000
Burkina Faso	43,259,000	74,999,000	97,099,000	215,357,000
Total	207,689,000	159,384,000	165,494,000	532,567,000
JICA %	79.2%	52.9%	41.3%	59.6%
Burkina Faso %	20.8%	47.1%	58.7%	40.4%

- The above budget shall be reviewed annually based on the annual workplan.

II. WAY FORWARD

The Project shall start after the steps below are taken.

Date	Event	Remarks
November – December, 2007	Internal Procedure of JICA	Internal procedure for the final approval by JICA Headquarters.
December, 2007	Signing of Record of Discussions (R/D)	R/D, which is the official document of the Project between JICA and the Burkinabe authorities shall be signed. A draft of R/D is attached in Annex II.
Mid-January, 2008	Starting the Project	

- The above schedule depends on the progress of the preparation of both sides.

ANNEX LIST

I. Annexes of Minutes of Meeting

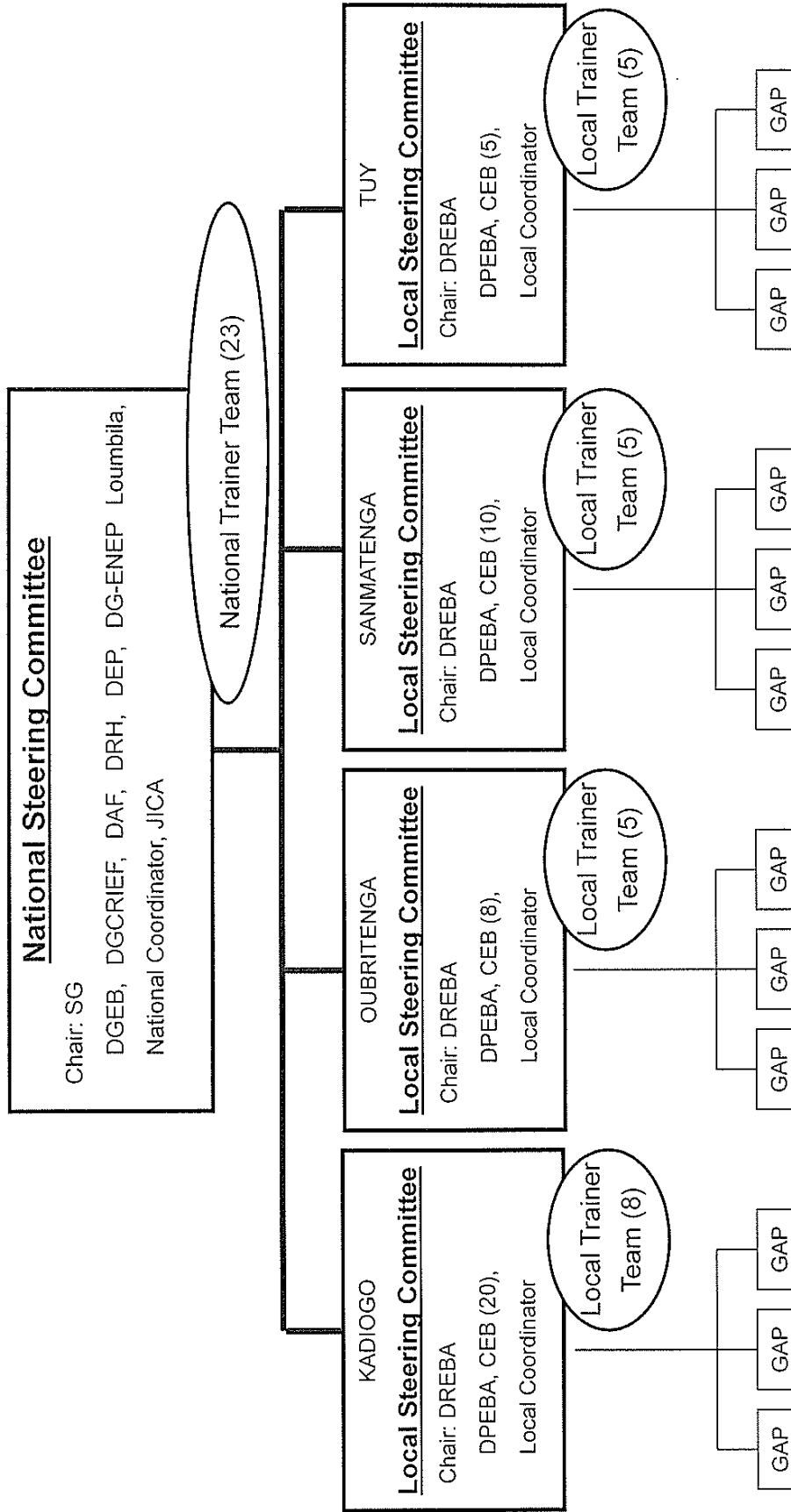
- I-1. Organisation Chart
- I-2. Training Structure
- I-3. Project Design Matrix
- I-4. Plan of Operation
- I-5. Roles of Various Structures
- I-6. Terms of Reference of Coordinators and Trainers
- I-7. Terms of Reference of JICA Expert
- I-8. Budget Estimation

II. Annex of Record of Discussions

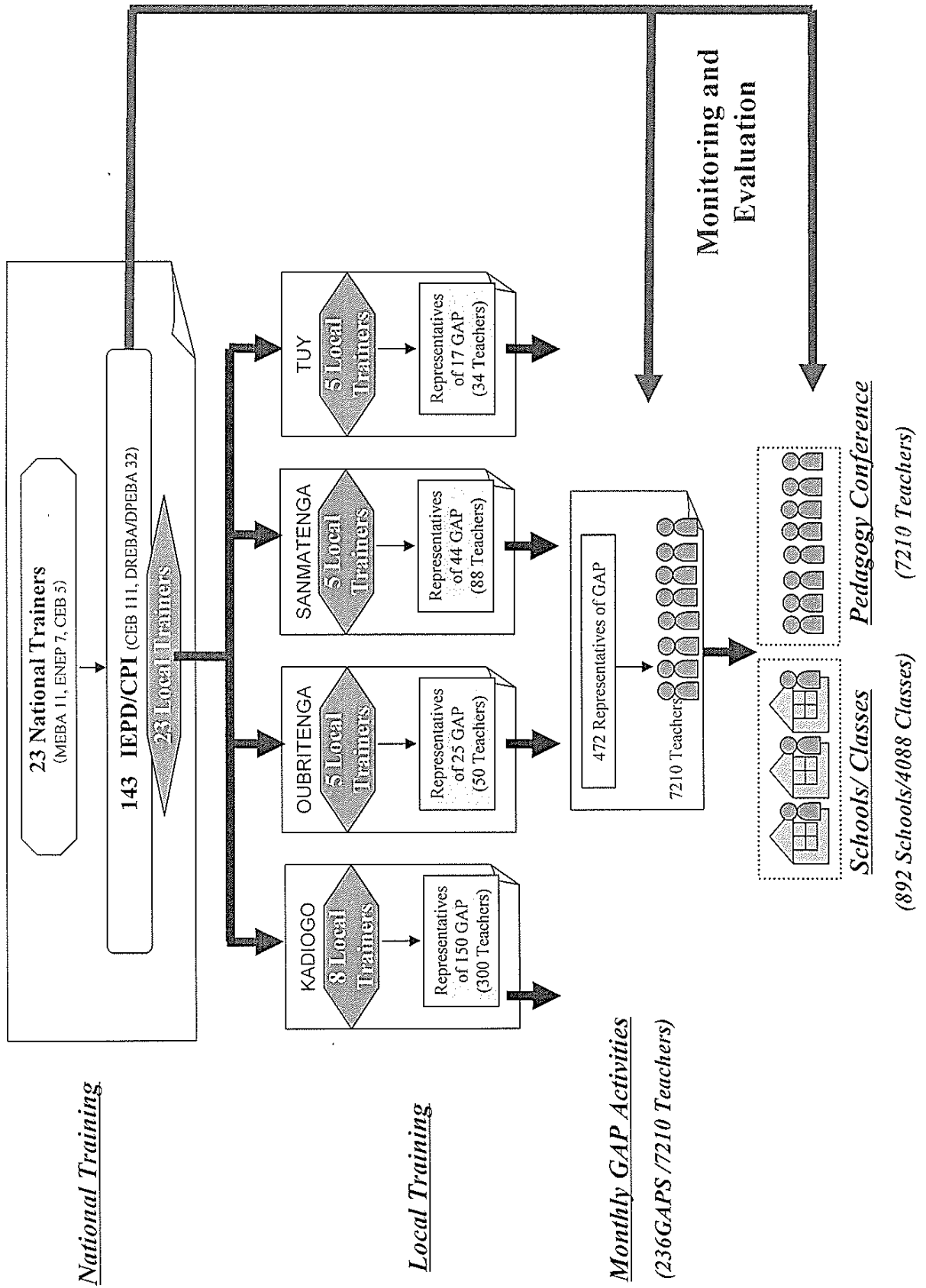
- II-1. Draft of Record of Discussions



ANNEX I-1 ORGANISATION CHART



ANNEX I-2 TRAINING STRUCTURE



de

fo

24

ANNEX I-3 PROJECT DESIGN MATRIX

Ver 1.0

Title of the Project : Project of Teachers Training Improvement in Science and Mathematics at the Primary Level Implementing Agency: Ministry of Basic Education and Literacy Target : Primary School Target Area: Provinces of KADIOGO, OUBRITENGA, SANMATENGA, TUY Target groups : National Trainers, Local Trainers, Inspectors and Pedagogy Advisors, Representatives of GAP, Teachers Period : 3 years			
Project Summary	Objectively verifiable Indicators	Means of verification	Important assumptions
Overall Goal The quality of mathematics and science education is improved by way of INSET.	<ul style="list-style-type: none"> ▪ School results of students on mathematics and science are improved. 	Grades obtained, success rate, performance on the target subjects of the project. Results of final exam	
Project Purpose The pedagogical practices of teachers are improved in the area of mathematics and science education by way of INSET.	<ul style="list-style-type: none"> • Pedagogical practice of teachers on mathematics and science obtain on average *** points in the M&E tools of the Project. 	M&E reports of the Project	<ul style="list-style-type: none"> • The working conditions of teachers will not be aggravated. • Teachers will stay in the present post during the project period.

Project Summary	Objectively verifiable Indicators	Means of verification	Important assumptions
<p>Outputs</p> <p>1. The Project structure is established.</p>	<p>1 a- The structure of the Project (steering committees in the national and local levels, teams of national and local trainers) are in place.</p>	<p>Decree and project documents M&E reports of the Project.</p>	<p>SMASE-WECESA continue to support the Project.</p>
<p>2. Training contents are developed.</p>	<p>2 a- The results of baseline study on the needs of teachers are available. 2 b- The training modules have been developed.</p>	<p>M&E reports of the Project Preparation notes and materials</p>	
<p>3. The capacity of National Trainers, Local Trainers, Pedagogy Advisors and Representatives of GAP is strengthened.</p>	<p>3 a- 23 National Trainers have been trained. 3 b- 143 Pedagogy Advisors have been trained on the concept of ASEI-PDSI in the National Training. 3 c- 472 Representatives of GAP have been trained on the concept of ASEI-PDSI in the Local training.</p>	<p>M&E reports of the Project</p>	
<p>4. The concept and the content of SMASE and ASEI-PDSI are well introduced and become an integrated part of GAP activities.</p>	<p>4 a- 236 GAPs in the targeted areas develop training plans that integrate ASEI-PDSI method of SMASSE. 4 b- GAP organize *** number of times SMASE specific activities in the target area. 4 c- *** percent of teachers have participated in the ASEI-PDSI sessions in GAP.</p>	<p>M&E reports of the Project</p>	

Project Summary	Contribution		Important Assumptions
	JICA	Burkina Faso	
<p>Output 1 :</p> <p>1a. Establish National Steering Committee. 1b. Establish Local Steering Committee. 1c. Establish National Trainers' Team 1d. Establish Local Trainers' Team.</p> <p>Output 2:</p> <p>2a. Conduct baseline study regarding the INSET needs of teachers. 2b. Develop didactic tools.</p> <p>Output 3 :</p> <p>3a. Conduct training for National Trainers 3b. Conduct National Training for Local Trainers and Pedagogy Advisors. 3c. Conduct Local Training for GAP Representatives. 3d. Assure monitoring and evaluation activities for National Training. 3e. Assure the monitoring and evaluation activities for Local Training. 3f. Organize experience sharing workshop on Project activities.</p> <p>Output 4:</p> <p>4a. Develop action plans of GAP specific to SMASE. 4b. Carry out SMASE activities in GAP. 4c. Provide technical support to SMASE activities of GAP through GAP Representatives by Pedagogy Advisors. 4d. Provide technical support to Local Trainers and Representatives of GAP by National Trainers.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Long-term expert • Short-term experts • Equipment necessary for the Project • Materials and equipment necessary for training • Training in third country or Japan 	<ul style="list-style-type: none"> • Counterparts (National Coordinator, 6 Core Trainers, National Trainers, Local Coordinator, Local Trainers) • Project office and its rehabilitation, and maintenance • National and Local Training Centres • Expenses related to National and Local Training (food, accommodation and transportation) • Expenses related to monitoring and evaluation 	<p>New projects or training will not interfere with the implementation of the Project.</p>
			<p>Pre-conditions</p> <p>The policy of the Government of Burkina Faso on mathematics and science education as well as INSET will not change.</p>

ANNEX I-5 ROLES OF VARIOUS STRUCTURES

1. National Steering Committee

(1) The National Steering Committee is the structure in charge of supervising as well as of monitoring and evaluating the implementation of the activities in the framework of the Project. It is in charge of;

- defining the general guidelines and strategy of the implementation of the Project
- supervising the overall management and administration of the Project
- adopting the annual plans of operation submitted by the National Coordinator
- evaluating the overall progress of the Project

(2) The National Steering Committee consists of the following member;

- Chairperson: Secretary General of MEBA
- Member:
 - Director General of Basic Education (DGEB)
 - Director General of the Centre of Research, Educational Innovation, and Training (DG-CRIEF)
 - Director of Administration and Finance (DAF)
 - Director of Human Resources (DRH)
 - Director of Study and Planning (DEP)
 - Director General of the National School of Primary School Teachers (ENEP) of Loubila
 - National Coordinator
 - Resident Representative of JICA Burkina Faso Office
 - JICA Expert

(3) In the implementation of the Project, the responsibilities of the National Steering Committee are established as follows;

- DGEB determines the criteria of implementation of the activities at the level of the Pedagogy Facilitation Groups (GAPs) through the Directorate of Development of Basic Education (DDEB).
- DG-CRIEF is in charge of the implementation of the Project on the innovation aspect through the Directorate of Research and Pedagogy Development (DRDP), which is the implementing body of the Project.
- DAF is in charge of all financial and material matters that commits the Burkina Faso side.
- DRH ensures the administrative management of the personnel, particularly the movement of teachers and of those who are in the permanent team of the Project.



- DEP is accountable for various projects. Thus, it is involved in the monitoring of the Project.
 - ENEP is the National Training Centre of the Project.
- (4) The National Steering Committee meets twice a year upon convocation of its chairperson.
- at the beginning of the year, to review and approve the annual work plan and budget,
 - at the end of the year, to review the progress report of the programme,
 - a special meeting of the Committee may be summoned as the need arises.
- (5) The meetings of the National Steering Committee shall result in the production of Minutes of the Meeting for the Minister of Basic Education and Literacy.

2. Local Steering Committee

- (1) The Local Steering Committees are established to ensure smooth implementation of the Project in their respective zones.

Their duties are as follows:

- Ensuring administrative management of the Project at local level
 - Checking the progress of the activities of the Project in the zone
 - Carrying out any measure aimed at improving the smooth operation of the Project in their respective zones.
- (2) The Local Steering Committee is made up of the following members:
- Chairperson:
- Regional Director of Basic Education and Literacy (DREBA)
- Members:
- Provincial Director of Basic Education and Literacy (DPEBA)
 - Heads of Districts of Basic Education District (CEB) of the province
 - Local Coordinator





ANNEX I-6 TERMS OF REFERENCE OF COORDINATORS AND TRAINERS

1. National Coordinator

- (1) A National Coordinator is appointed by ministerial decree of the Minister of Basic Education and Literacy.
- (2) The National Coordinator is in charge of the implementation and monitoring of the decisions made by the National Steering Committee. He initiates any action likely to improve the progress of the Project. He prepares the agendas of meetings and convocation letters, which he submits to the Chairperson of the Committee fifteen (15) days before the meeting.

2. Local Coordinators

- (1) Local Coordinators are appointed by the DREBA of the Project areas upon proposal of the DPEBA. They report to the National Coordinator on the activities of the Project in their respective areas.
- (2) The duties of the Local Coordinators are as follows;
 - Compiling summary reports of the activities in their respective areas
 - Forwarding the reports to the national level
 - Initiate any activity that could contribute to the good operation of the Project.

3. National Trainer Team

- (1) A National Trainer Team is constituted upon the decision of the Minister of Basic Education and Literacy.
- (2) The National Trainer Team consists of twenty three (23) persons, notably the pedagogy supervisors and specialists on education science.
- (3) The National Trainer Team is in charge of;
 - defining the annual work plan
 - conducting training at the central level
 - conducting the monitoring and evaluation of the Project
 - providing support to the Local Trainers.
- (4) A core team of seven (7) persons (including the National Coordinator) selected among the National Trainers is established.
- (5) The duties of the Core Team are as follows;
 - developing the training modules in collaboration with resource persons
 - developing the monitoring and evaluation tools
 - developing the teaching tools
 - developing the training programmes



4. Local Trainer Team

(1) Local Trainer Teams are established by DREBA in the Project intervention areas. Each team is composed of five (5) trainers. For Kadiogo province, the number is eight (8).

(2) The selection criteria for Local Trainers are as follows:

- being an Inspector or Pedagogic Advisor of the area concerned by the Project;
- having an experience of facilitation of working groups
- having the competence needed to conduct training sessions,
- having at least three years of experience in the supervising of teachers.


(3) The Local Trainer Teams have the following duties:

- conducting training at local level;
- conducting sensitisation activities for the stakeholders of the education system in their respective areas.
- conducting the monitoring and evaluation of the Project in their respective areas.
- providing support to the representatives of GAPs.

5. Representatives of Pedagogic Facilitation Groups (GAPs)

The selection criteria for the representatives of GAPs are as follows:

- being a GAP coordinator
- being a secretary (reporter) of GAP



ANNEX I-7 TERMS OF REFERENCE OF JICA EXPERT

JICA shall dispatch an expert, whose functions are as follows:

1. Advise and assist the National Coordinator, the Local Coordinators, the National Trainers, and the Local Trainers in the implementation and management of the Project.
2. Give advice to the counterparts on the technical aspects of monitoring and evaluation.
3. Give advice to the counterparts on other relevant issues concerned the Project.



ANNEX I-8 BUDGET ESTIMATION

SUMMARY

FCFA

	2008	2009	2010	Total
JICA	164 430 000	84 385 000	68 395 000	317 210 000
MEBA	43 259 000	74 999 000	97 099 000	215 357 000
Total	207 689 000	159 384 000	165 494 000	532 567 000
JICA %	79,2%	52,9%	41,3%	59,6%
MEBA	20,8%	47,1%	58,7%	40,4%

Estimate in US\$ (\$ 1= 480XOF)

	2008	2009	2010	Total
JICA	\$342 563	\$168 770	\$136 790	\$634 420
MEBA	\$90 123	\$149 998	\$194 198	\$430 714
Total	\$432 685	\$318 768	\$330 988	\$1 065 134

Estimate in Yen(¥1=4XOF)

	2008	2009	2010	Total
JICA	¥1 411 075 000	¥21 096 250	¥17 098 750	¥179 302 500
MEBA	¥10 814 750	¥18 749 750	¥24 274 750	¥53 839 250
Total	¥1 519 222 250	¥39 846 000	¥41 373 500	¥133 141 750

Burkina SMASE Cost-Sharing Principle

	2008	2009	2010
Training in Third Country	JICA	JICA	JICA
National Training	JICA	JICA	MEBA
Local Training	JICA (Kadiogo, Oubritenga) MEBA (Tuy, Sanmatenga)	MEBA	MEBA
M&E of GAP activities	JICA MEBA	JICA MEBA	JICA MEBA
M&E in schools	MEBA	MEBA	MEBA

1st year (2008) Analysis of Budget

	Items	Unit FCFA	Quantity		Total	Responsible Organisation
			Frequency	persons		
Preparation	Baseline Survey (See ANNEX I-8-5)	5 810 000	1	1	5 810 000	JICA
	Module development (See ANNEX I-8-5)	5 585 000	1	1	5 585 000	JICA
National Training	Transportation (National and Local Trainers)	5 000	2	170	1 700 000	JICA
	Food & accomodation (National and Local Trainers)	10 000	12	170	20 400 000	JICA
	Materials, stationary, and kits for participants	5 000	2	170	1 700 000	JICA
	Honorarium for National Trainers	25 000	10	10	2 500 000	MEBA
	Air ticket (Third Country Experts)	1 000 000	1	2	2 000 000	JICA
	Food & accomodation (Third Country Experts)	65 000	15	2	1 950 000	JICA
	Translator	80 000	10	2	1 600 000	JICA
	Opening ceremony	500 000	1	1	500 000	JICA
	Printing of modules	10 000	1	170	1 700 000	JICA
Oversea Training	Traning in Kenya (food & accomodation)	35 000	28	10	9 800 000	JICA
	Air ticket	1 000 000	1	10	10 000 000	JICA
	WECSA annual fees	150 000	3	1	450 000	MEBA
	Per diem of participants	165 000	1	10	1 650 000	MEBA
	WECSA admission fee	50 000	1	1	50 000	MEBA
VISA	25 000	1	10	250 000	MEBA	
SMASE-WECSA Conference	Air ticket for Burkinabe participants	1 000 000	1	3	3 000 000	JICA
	Food & accomodation	350 000	1	3	1 050 000	JICA
	VISA fee	25 000	1	3	75 000	MEBA
	Per diem of participants	200 000	1	3	600 000	MEBA
	Air ticket for JICA Expert	1 000 000	1	1	1 000 000	JICA
Food & accomodation for JICA Expert	420 000	1	1	420 000	JICA	
Local Training	Transportation (Kadiogo & Ouhrietenga)	2 500	2	483	2 415 000	JICA
	Kadiogo (food & accomodation)	10 000	6	403	24 180 000	JICA
	Ouhrietenga (food & accomodation)	10 000	6	80	4 800 000	JICA
	Transport (Sanmatenga, Tuy)	2 500	2	184	920 000	MEBA
	Sanmatenga (food & accomodation)	10 000	6	128	7 680 000	MEBA
	Tuy (food & accomodation)	10 000	6	56	3 360 000	MEBA
	Honorarium for Local Trainers	25 000	6	23	3 450 000	MEBA
	Materials and kits for participants	5 000	1	670	3 350 000	JICA
	Supervision of Local Training by National Trainers	10 000	2	8	160 000	MEBA
	Fuel for Supervision of Local Training by National Trainers	150 000	1	1	150 000	MEBA
	Driver for supervision	7 500	2	4	60 000	MEBA
	Stationary	500 000	1	1	500 000	MEBA
	Monitoring & evaluation by JICA Expert (Local Training and GAP)	65 000	1	14	910 000	JICA
	Monitoring & evaluation of GAP by National Trainers	10 000	2	8	160 000	MEBA
Monitoring & evaluation by CEB	100 000	1	43	4 300 000	MEBA	
Printing of modules	10 000	1	670	6 700 000	JICA	
Administration	Water, electricity, phone, internet	350 000	1	12	4 200 000	MEBA
	Gardening and cleaning fee	50 000	3	12	1 800 000	MEBA
	Newspaper	2 000	1	12	24 000	MEBA
	Preparing for the office	9 000 000	1	1	9 000 000	MEBA
	Driver	150 000	1	9	1 350 000	JICA
	Secretary	200 000	1	12	2 400 000	JICA
	Installation of Communication (Internet, etc)	600 000	1	1	600 000	JICA
	Laptop	1 000 000	1	3	3 000 000	JICA
	Computer	1 000 000	1	5	5 000 000	JICA
	Projector	1 000 000	1	2	2 000 000	JICA
	Video camera	500 000	1	2	1 000 000	JICA
	Digital Camera	200 000	1	1	200 000	JICA
	Printers	500 000	1	2	1 000 000	JICA
	UPS	100 000	1	5	500 000	JICA
	Photocopier	3 000 000	1	1	3 000 000	JICA
	Vehicle 4x4	18 000 000	1	1	18 000 000	JICA
	Flip Chart	200 000	1	4	800 000	JICA
	Scientific compendium	750 000	1	3	2 250 000	JICA
	Maintenance of equipment in the office	1 000 000	1	1	1 000 000	JICA
	Car maintenance	1 000 000	1	1	1 000 000	JICA
	Car insurance	1 000 000	1	1	1 000 000	JICA
	Fuel and oil	350 000	1	9	3 150 000	JICA
	Postal fee	120 000	1	12	1 440 000	JICA
	Allowance for National Coordinator	95 000	1	12	1 140 000	MEBA
	Allowance for Accountant	65 000	1	12	780 000	MEBA
	Paper	85 000	1	12	1 020 000	JICA
	Office furniture	2 000 000	1	1	2 000 000	JICA
Car rental	60 000	1	30	1 800 000	JICA	
Promotion of Project	350 000	1	1	350 000	JICA	
Total					207 689 000	
Budget share			MEBA		43 259 000	20,8%
			JICA		164 430 000	79,2%

2nd year (2009) Analysis of Budget

	Items	Unit FCFA	Quantity		Total	Responsible Organisation
			Frequency	persons		
Module	Module development (See ANNEX I-8-5)	5 585 000	1	1	5 585 000	JICA
National Training	Transportation (National and Local Trainers)	5 000	2	170	1 700 000	JICA
	Food (National and Local Trainers)	5 000	12	170	10 200 000	JICA
	Accommodation (National and Local Trainers)	5 000	12	170	10 200 000	JICA
	Materials and kits for participants	5 000	1	170	850 000	MEBA
	Translator	80 000	10	1	800 000	JICA
	Honorarium for National Trainers	25 000	10	10	2 500 000	MEBA
	Air ticket (Third Country Experts)	1 000 000	1	1	1 000 000	JICA
	Food & accommodation (Third Country Experts)	65 000	1	14	910 000	JICA
	Opening ceremony	500 000	1	1	500 000	JICA
	Printing of modules	10 000	1	170	1 700 000	JICA
Oversea Training	Oversea exchange study	1 000 000	1	3	3 000 000	JICA
	Training in Kenya (food & accommodation)	35 000	28	10	9 800 000	JICA
	Per diem of participants	165 000	1	10	1 650 000	MEBA
	Air ticket	1 000 000	1	10	10 000 000	JICA
	WECSA annual fees	150 000	1	1	150 000	MEBA
	VISA	25 000	1	10	250 000	MEBA
Conférence SMASE-WECSA	Air ticket for Burkinabe participants	1 000 000	1	3	3 000 000	JICA
	Food & accommodation	350 000	1	3	1 050 000	JICA
	VISA fee	25 000	1	3	75 000	MEBA
	Per diem of participants	200 000	1	3	600 000	MEBA
	Air ticket for JICA Expert	1 000 000	1	1	1 000 000	JICA
	Food & accommodation for JICA Expert	420 000	1	1	420 000	JICA
Local Training	Transportation of participants	2 500	2	670	3 350 000	MEBA
	Food & accommodation of participants	10 000	6	670	40 200 000	MEBA
	Materials and kits for participants	5 000	1	670	3 350 000	MEBA
	Office stationary	500 000	1	1	500 000	MEBA
	Honorarium for Local Trainers	25 000	6	23	3 450 000	MEBA
	Supervision of Local Training by National Trainers	10 000	2	8	160 000	MEBA
	Fuel for Supervision of Local Training by National Trainers	150 000	1	1	150 000	MEBA
	Driver for supervision	7 500	2	4	60 000	MEBA
	Monitoring & evaluation by CEB	100 000	2	43	8 600 000	MEBA
	Monitoring & evaluation by JICA Expert (Local Training and GAP)	65 000	1	14	910 000	JICA
	Monitoring & evaluation of GAP by National Trainers	10 000	2	8	160 000	MEBA
	Printing of modules	10 000	1	670	6 700 000	JICA
Administration	Water, electricity, phone, internet	350 000	1	12	4 200 000	MEBA
	Gardening and cleaning fee	50 000	3	12	1 800 000	MEBA
	Newspaper	2 000	1	12	24 000	MEBA
	Driver	150 000	1	12	1 800 000	JICA
	Secretary	200 000	1	12	2 400 000	JICA
	Maintenance of inside building	1 000 000	1	1	1 000 000	MEBA
	Maintenance of equipment in the office	1 000 000	1	1	1 000 000	JICA
	Car maintenance	1 200 000	1	1	1 200 000	JICA
	Car insurance	1 000 000	1	1	1 000 000	JICA
	Fuel and oil	350 000	1	12	4 200 000	JICA
	Allowance for National Coordinator	95 000	1	12	1 140 000	MEBA
	Allowance for Accountant	65 000	1	12	780 000	MEBA
	Stationary	85 000	1	12	1 020 000	JICA
	Postal fee	120 000	1	12	1 440 000	JICA
Promotion	Experience sharing workshop	10 000	2	50	1 000 000	JICA
	Transportation for workshop	5 000	1	20	100 000	JICA
	Promotion of project	350 000	1	1	350 000	JICA
	Math & Science Olympic					
	Publication of bulletin	100 000	4	1	400 000	JICA
Total					159 384 000	
Budget share			MEBA		74 999 000	47,1%
			JICA		84 385 000	52,9%

3rd year (2010) Analysis of Budget

	Items	Unit FCFA	Quantity		Total	Responsible Organisation
			Frequency	persons		
Module	Endline Survey (See ANNEXI-8-5)	5 810 000	1	1	5 810 000	JICA
	Module development (See ANNEXI-8-5)	5 585 000	1	1	5 585 000	JICA
National Training	Transportation (National and Local Trainers)	5 000	2	170	1 700 000	MEBA
	Food (National and Local Trainers)	5 000	12	170	10 200 000	MEBA(ENEP)
	Accommodation (National and Local Trainers)	5 000	12	170	10 200 000	MEBA
	Materials and kits for participants	5 000	1	170	850 000	MEBA
	Translator	80 000	10	1	800 000	JICA
	Honorarium for National Trainers	25 000	10	10	2 500 000	MEBA
	Air ticket (Third Country Experts)	1 000 000	1	1	1 000 000	JICA
	Food & accommodation (Third Country Experts)	65 000	14	1	910 000	JICA
	Opening ceremony	500 000	1	1	500 000	JICA
Printing of module	10 000	1	170	1 700 000	JICA	
Oversea Training	Oversea exchange study	1 000 000	1	3	3 000 000	JICA
	Training in Kenya (food & accommodation)	35 000	28	10	9 800 000	JICA
	Per diem of participants	165 000	1	10	1 650 000	MEBA
	Air ticket	1 000 000	1	10	10 000 000	JICA
	WECSA annual fees	150 000	1	1	150 000	MEBA
SMASE-WECSA Conference	VISA	25 000	1	10	250 000	MEBA
	Air ticket for Burkinabe participants	1 000 000	1	3	3 000 000	JICA
	Food & accommodation	350 000	1	3	1 050 000	JICA
	Per diem of participants	200 000	1	3	600 000	MEBA
	VISA fee	25 000	1	3	75 000	MEBA
	Air ticket for JICA Expert	1 000 000	1	1	1 000 000	JICA
Local Training	Food & accommodation for JICA Expert	420 000	1	1	420 000	JICA
	Transportation of participants	2 500	2	670	3 350 000	MEBA
	Food & accommodation of participants	10 000	6	670	40 200 000	MEBA
	Materials and kits for participants	5 000	1	670	3 350 000	MEBA
	Office stationery	500 000	1	1	500 000	MEBA
	Honorarium for Local Trainers	25 000	6	23	3 450 000	MEBA
	Supervision of Local Training by National Trainers	10 000	2	8	160 000	MEBA
	Fuel for Supervision of Local Training by National Trainers	150 000	1	1	150 000	MEBA
	Driver for supervision	7 500	2	4	60 000	MEBA
	Monitoring & evaluation by CEB	100 000	2	43	8 600 000	MFPA
	Monitoring & evaluation by JICA Expert	65 000	1	14	910 000	JICA
	Monitoring & evaluation of GAP by National Trainers	10 000	2	8	160 000	MEBA
Printing of module	10 000	1	670	6 700 000	JICA	
Administration	Water, electricity, phone, internet	350 000	1	12	4 200 000	MEBA
	Gardening and cleaning fee	50 000	3	12	1 800 000	MEBA
	Newspaper	2 000	1	12	24 000	MEBA
	Driver	150 000	1	12	1 800 000	JICA
	Secretary	200 000	1	12	2 400 000	JICA
	Maintenance of inside building	1 000 000	1	1	1 000 000	MEBA
	Maintenance of equipment in the office	1 000 000	1	1	1 000 000	JICA
	Car maintenance	1 500 000	1	1	1 500 000	JICA
	Fuel and oil	350 000	1	12	4 200 000	JICA
	Car insurance	1 000 000	1	1	1 000 000	JICA
	Stationery	85 000	1	12	1 020 000	JICA
	Allowance for National Coordinator	95 000	1	12	1 140 000	MEBA
	Allowance for Accountant	65 000	1	12	780 000	MEBA
Postal fee	120 000	1	12	1 440 000	JICA	
Promotion	Experience sharing workshop	10 000	2	50	1 000 000	JICA
	Transportation for workshop	5 000	1	20	100 000	JICA
	Promotion of project	350 000	1	1	350 000	JICA
	Publication of bulletin	100 000	4	1	400 000	JICA
Total					165 494 000	
Budget share			MEBA		97 099 000	58,7%
			JICA		68 395 000	41,3%

Base/End-line Study and Module Development

	Item	Unit Cost	Quantity	Frequency	Total
Baseline study	Development of questionnaires	1 000	300	1	300 000
	Car rental	80 000	4	5	1 600 000
	Transportation of Third country expert	1 000 000	1	1	1 000 000
	Food & accomodation (Third country experts)	65 000	1	14	910 000
	Translator	80 000	1	10	800 000
	Food & accomodation	25 000	8	6	1 200 000
	Sub-total (Baseline survey)				
Module Development	Lunch & coffee	5 000	23	5	575 000
	Stationary	2 500	23	1	57 500
	Transportation	2 500	23	5	287 500
	Materials and photocopies	10 000	23	1	230 000
	Transportation of Third country expert	1 000 000	1	1	1 000 000
	Food & accomodation (Third country experts)	65 000	1	14	910 000
	Translator	80 000	1	10	800 000
	Module Validation Workshop				
	Transportation	10 000	15	1	150 000
	Lunch & coffee	5 000	50	1	250 000
	Stationary	2 500	50	1	125 000
	Materials and photocopies	10 000	50	1	500 000
	Room	100 000	1	1	100 000
	Translation	10 000	1	60	600 000
Printing of modules	15 000	0	0	0	
Sub-total (Module development)					5 585 000
Endline study	Development of questionnaires	1 000	300	1	300 000
	Car rental	80 000	4	5	1 600 000
	Transportation of Third country expert	1 000 000	1	1	1 000 000
	Food & accomodation (Third country experts)	65 000	1	14	910 000
	Translator	80 000	1	10	800 000
	Food & accomodation	25 000	8	6	1 200 000
	Sub-total (Baseline survey)				

PROCES VERBAL DE DISCUSSIONS
ENTRE
LA MISSION D'ETUDE PREPARATOIRE JAPONAISE
ET
LES AUTORITES COMPETENTES DU GOUVERNEMENT DU BURKINA FASO
SUR
LA COOPERATION TECHNIQUE JAPONAISE POUR LE PROJET D'APPUI A LA
FORMATION CONTINUE DES ENSEIGNANTS EN MATIERE DE SCIENCES ET
DE MATHEMATIQUES A L'ECOLE PRIMAIRE
(SMASE – BURKINA FASO)

La Deuxième Mission d'Etude Préparatoire Japonaise (ci après dénommée « Mission ») envoyée par l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (ci après dénommée « JICA »), et dirigée par M. Shinichi ISHIHARA, s'est rendue au Burkina Faso du 17 au 26 novembre 2007 en vue de finaliser le plan du Projet d'Appui à la Formation Continue des Enseignants en Matière de Sciences et de Mathématiques à l'Ecole Primaire (ci après dénommée « Projet »).

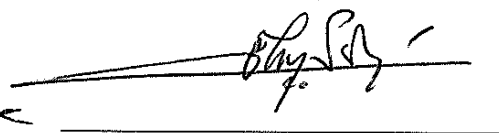
Durant son séjour au Burkina Faso, la Mission a échangé des points de vue et a eu une série de discussions avec le Ministère de l'Enseignement de Base et de l'Alphabétisation (MEBA) (ci après dénommé « Partie burkinabé ») sur la conception du Projet. A la suite des discussions, la Mission et la Partie burkinabé ont convenu du contenu du document ci-joint.

Le Procès Verbal a été élaboré en langues française et anglaise, chacune des versions étant aussi authentique l'une que l'autre. En cas de divergences sur la traduction initiale, le texte initial concerné des deux langues pourrait au besoin être modifié après concertation et accord entre les deux parties.

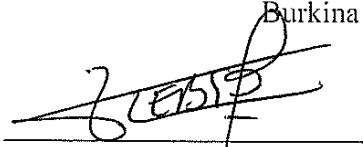
Fait à Ouagadougou, le 23 novembre, 2007



M. Shinichi ISHIHARA
Chef
Mission d'Etude Préparatoire Japonaise
Agence Japonaise de Coopération
Internationale (JICA)



M. Noraogo Innocent ZABA
Secrétaire Général
Ministère de l'Enseignement de Base et de
l'Alphabétisation (MEBA)
Burkina Faso



M. Léné SEBGO
Directeur Général de la Coopération
Ministère de l'Economie et des Finances
Burkina Faso

DOCUMENT JOINT

Liste des participants

Les discussions entre la partie burkinabé et la JICA concernant le Projet se sont tenues à Ouagadougou du 19 au 23 novembre 2007.

La partie burkinabé

Ministère de l'Enseignement de Base et de l'Alphabétisation (MEBA)

M. ZABAN. Innocent, Secrétaire Général

Mme. TAPSOBA K. Judith, Directrice Générale de l'Enseignement de Base (DGEB)

M. NASSOURI Seydou, Directeur Général, Ecole Normale de l'Enseignement Primaire (ENEP) Loumbila

M. KONATE Seydou, Directeur des Etudes et de la Planification (DEP)

Mme. SALOU Marie Aubin, Directrice de l'Administration et des Finances (DAF)

M. DAO Bayé, Directeur de la Recherche et du Développement Pédagogique (DRDP)
Représentant de Mme. la Directrice Générale du Centre de Recherche, des Innovations
Educatives et de Formation (DG-CRIEF), en mission

M. DABOU Servace Maryse, Directeur de la Communication et de la Presse Ministérielle (DCPM)

M. KORBEOGO Sibiri, Directeur Régional de l'Enseignement de Base et de l'Alphabétisation (DREBA) Centre

Mme. ZONGO Estelle, Directrice Provincial de l'Enseignement de Base et de l'Alphabétisation (DPEBA) Kadiogo

M. SIRIPE D. Ousmane, DGEB

M. BAMOUNI Paul Marie, DAF

M. BELOUM Saydou, DRH

Mme. SAWADOGO Antoinette, Conseiller Pédagogique, Circonscription d'Education de Base (CEB) Boulmiougou

M. ZONGO Sulemane, Coordonnateur National / DRDP, DGCRIEF

Ministère de l'Economie et des Finances

M. Léné SEBGO, Directeur Général de la Coopération (DGC)

M. KABRE Bila Raphaël, Chargé de Promotion, de Programme, de Coopération
Burkina-Asie, Direction de la Coopération Bilatérale, DGC

La partie japonaise

Mission d'Etude Préparatoire

M. Shinichi ISHIHARA, Directeur, Equipe II, Groupe de l'Education de Base, Département
du Développement Humain (DDH), JICA au siège

Mme. Mary KARIUKI, CEMASTE, Ministère de l'Education, Kenya

M. Chigiru YAMASHITA, Equipe II de l'Education de Base, DDH, JICA au siège

M. Takeshi MIYAZAKI, Conseiller, Equipe II de l'Education de Base, DDH, JICA au siège

JICA Burkina Faso

M. Yoshio HORIUCHI, Représentant Résident

M. Shuhei SAIKAWA, Conseiller Technique en éducation



I. RESUME DES DISCUSSIONS

Sur la base de la proposition de Projet conjointement préparée par la Partie burkinabé et la JICA, les deux parties ont discuté et convenu de la Structure des Formations, du Cadre Logique, du Plan d'Opération, du Budget, etc. Les détails des documents convenus sont joints en Annexe I. Les principaux changements qui ont été convenus sont les suivants :

1. Formateurs Nationaux

Les deux parties se sont mises d'accord qu'un formateur de chacune des trois autres Ecoles Normales de l'Enseignement Primaire (ENEP) Bobo-Dioulasso, Fada N'Gourma, et Gaoua, devienne Formateur National, en considérant l'expansion du Projet aux autres parties du pays à l'avenir. Par conséquent, le nombre des Formateurs Nationaux est passé de vingt (20) à vingt-trois (23), dont les sept (7) formateurs des ENEP (trois de l'ENEP-Loumbila, un de chacune des autres ENEP)

2. Période et Durée des Formations

Les deux parties ont discuté sur la période et la durée de la Formation Nationale et des Formations Locales et ont convenu de ce qui suit :

- Premièrement, la Formation Nationale sera organisée en août pour une durée de dix (10) jours.
- Deuxièmement, les Formations Locales seront organisées en octobre pour une durée de six (6) jours.

3. Représentants des Groupe d'Animation Pédagogique (GAP)

Il a été remarqué que le nombre de GAP augmente chaque année à cause de l'expansion rapide de l'éducation primaire dans le pays, et que cela affectera la mise en oeuvre des formations locales. Afin de s'adapter au nombre croissant de GAP pendant la durée du Projet, il a été convenu que la Formation Locale cible deux (2) représentants au lieu de trois (3).

4. Atelier d'Echanges

Il a été proposé et convenu qu'un atelier d'échanges soit organisé chaque année à partir de 2009 afin de recueillir différentes observations sur les formations tenues dans toutes les zones du Projet. Le nombre total de participants de l'atelier sera cinquante (50), selon la répartition ci-dessous :

- 1 représentant des Formateurs Locaux et Coordonnateur Local par province
- 2 représentants des GAP par province



2
24

- 4 Directeurs Régionaux de l'Enseignement de Base et de l'Alphabétisation (DREBA)
- 4 Directeurs Provinciaux de l'Enseignement de Base et de l'Alphabétisation (DPEBA)
- 23 Formateurs Nationaux
- 2 représentants du Comité National du Pilotage
- Expert de la JICA

5. Analyse de Budget

Le Gouvernement du Burkina Faso prendra en charge les éléments identifiés pendant la période de trois ans. La JICA complètera la contribution du Gouvernement sous forme d'appui du Projet. Les deux parties ont convenu de la répartition du budget entre la partie burkinabé et la JICA selon le schéma ci-dessous indiqué :

	2008	2009	2010	Total (FCFA)
JICA	164,430,000	84,385,000	68,395,000	317,210,000
Burkina Faso	43,259,000	74,999,000	97,099,000	215,357,000
Total	207,689,000	159,384,000	165,494,000	532,567,000
JICA %	79.2%	52.9%	41.3%	59.5%
Burkina Faso %	20.8%	47.1%	58.7%	40.5%

- Le budget ci-dessus sera révisé annuellement sur la base de plan annuel d'opération.

II. PERSPECTIVES

Le Projet commencera après que les étapes ci-dessous auront été effectuées.

Date	Evènement	Remarques
Novembre - Décembre, 2007	Processus interne de la JICA	Processus pour l'approbation finale par le siège de la JICA
Décembre, 2007	Signature du Procès Verbal (P/V)	Le P/V, qui constitue le document officiel du Projet entre les Autorités burkinabé et la JICA sera signé. Un draft de P/V est joint en Annexe II.
Mi-Janvier, 2008	Démarrage du Projet	

- Le calendrier ci-dessus sera tributaire de l'état d'avancement de la préparation des deux Parties.

3

LISTE DES ANNEXES

I. Annexes de ce Procès Verbal

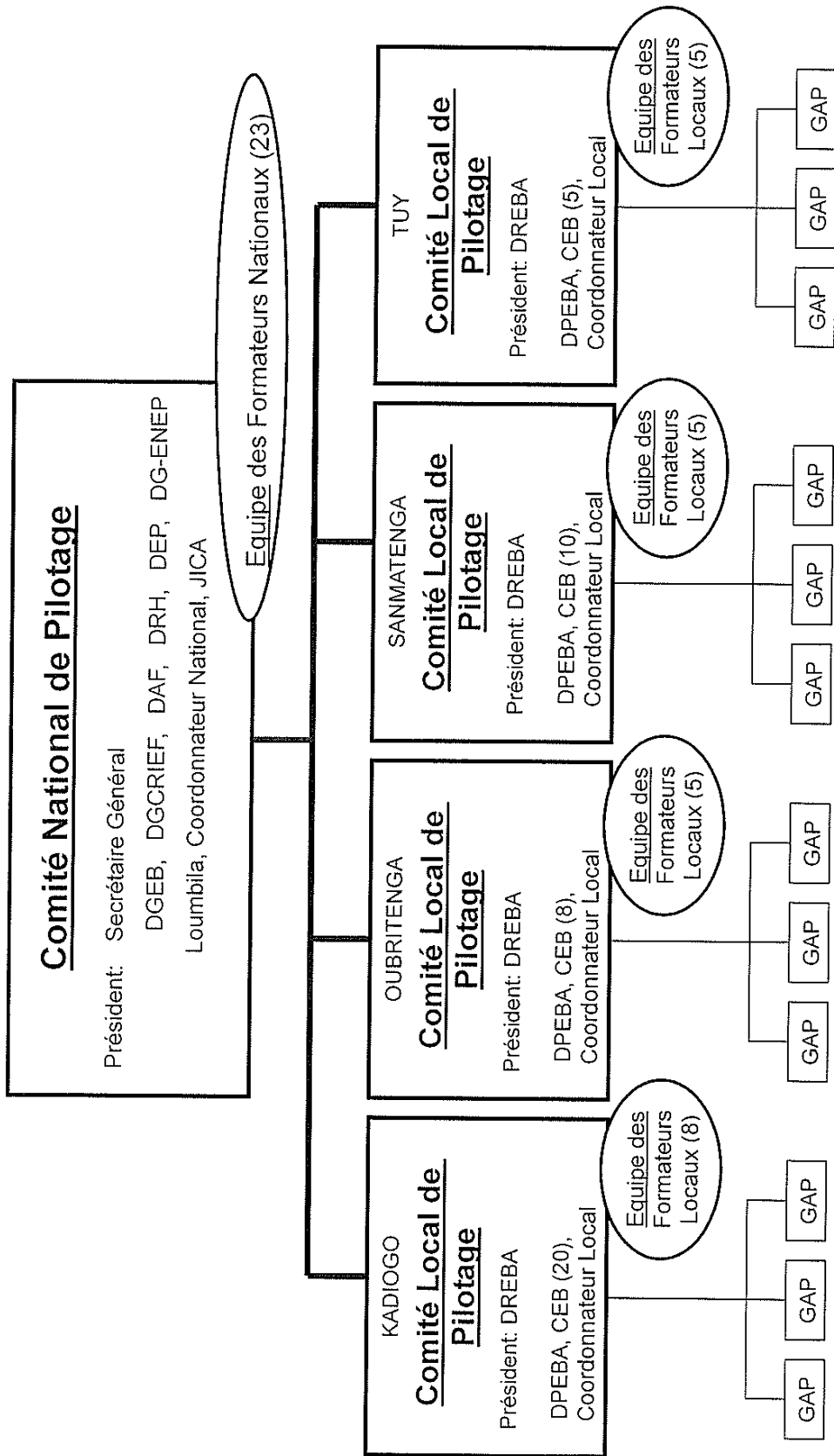
- I-1. Organigramme
- I-2. Structure de Formation
- I-3. Cadre Logique
- I-4. Plan d'Opération
- I-5. Cahier de Charges des Différentes Structures
- I-6. Cahier de Charges des Coordonnateurs et des Formateurs
- I-7. Cahier de Charges de l'Expert de la JICA
- I-8. Estimation du Budget

II. Annexe de Procès Verbal Final

- II-1. Draft de Procès Verbal Final



ANNEXE I-1 ORGANIGRAMME

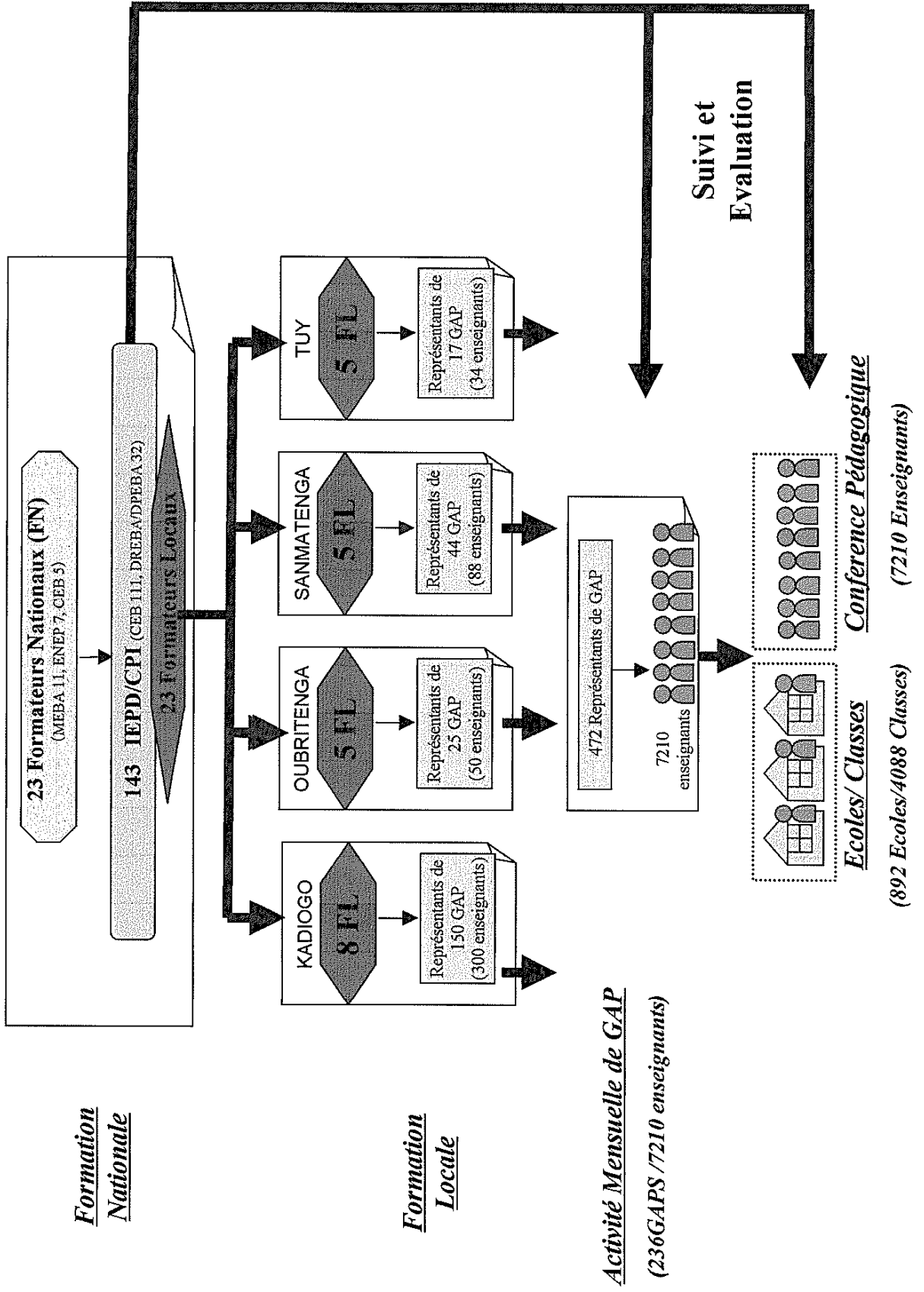


[Signature]

[Signature]

[Signature]

ANNEXE I-2 STRUCTURE DE FORMATION



li

f

27.

ANNEXE I-3 CADRE LOGIQUE DU PROJET

Ver 1.0

<p>Titre du Projet : Amélioration de l'Enseignement des Mathématiques et Sciences au Primaire au Burkina Faso</p> <p>Structures d'exécution : Ministère de l'Enseignement de Base et de l'Alphabétisation (MEBA) et Agence Japonaise de Coopération Internationale (JICA)</p> <p>Niveau cible : Ecole Primaire</p> <p>Zones pilotes : Provinces du KADIOGO, OUBRITENGA, SANMATENGA, TUY.</p> <p>Groupes cibles : Formateurs Nationaux, Formateurs Locaux, Inspecteurs, Conseillers Pédagogiques, représentants des Groupes d'Animation Pédagogiques (GAP) et enseignants des zones du Projet.</p> <p>Durée : Trois (03) ans</p>			
Résumé narratif	Indicateurs Objectivement Vérifiables	Sources de Vérification	Suppositions importantes
<p>Objectif global: La qualité de l'enseignement des Mathématiques et des Sciences est améliorée à travers la formation continue.</p> <p>But du Projet: Les pratiques pédagogiques des enseignants dans le domaine de l'enseignement des mathématiques et des sciences sont améliorées à travers la formation continue</p>	<p>Les résultats scolaires des élèves en mathématiques et en sciences sont améliorés</p> <p>Les pratiques pédagogiques des enseignants en mathématiques et en sciences obtiennent une moyenne de n points sur la base des outils de suivi-évaluation du Projet</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ Notes obtenues/taux de succès/ performances dans les disciplines du Projet ▪ Résultats de fin d'année ▪ Rapports de suivi évaluation ▪ Fiches de suivi évaluation 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ Les conditions de travail des enseignants ne se dégraderont pas. ▪ Pendant la durée du Projet, les enseignants restent à leur poste.

Résultats	Indicateurs Objectivement Vérifiables	Sources de Vérification	Suppositions importantes
<p>1. La structuration et l'orientation du Projet sont mises en place.</p> <p>2. Les contenus de formation sont développés.</p> <p>3. La capacité des formateurs nationaux, des formateurs locaux, des inspecteurs, des conseillers pédagogiques et des représentants des GAP est renforcée.</p> <p>4. Le concept et le contenu du SMASE et ASEI PDSI sont bien introduits et sont une partie intégrante des activités des GAP.</p>	<p>1 a- La structuration du Projet (comité de pilotage au niveau national et local et l'équipe des formateurs nationaux et locaux) est mise en place.</p> <p>2 a- Les résultats de l'étude de base des besoins des enseignants sont disponibles.</p> <p>2 b- Les modules de formation sont développés.</p> <p>3 a. 23 formateurs nationaux sont formés.</p> <p>3 b. 143 encadreurs pédagogiques sont formés au concept ASEI PDSI à la formation nationale.</p> <p>3 c. 472 représentants des GAP sont formés au concept ASEI PDSI à la formation locale.</p> <p>4 a. 236 GAP dans les zones d'intervention développent des plans de formation prenant en compte la méthode ASEI-PDSI du SMASE dans leur région respective.</p> <p>4 b. x nombre de fois en moyenne que les GAP organisent des activités spécifiques au SMASE dans les 4 zones pilotes du Projet.</p> <p>4 c. x % des enseignants ont participé aux séances ASEI-PDSI dans les GAP.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ Arrêté et document du Projet ▪ Rapport de suivi évaluation du Projet ▪ Rapports de suivi évaluation du Projet ▪ Cahiers de préparation et matériels rassemblés 	<p>SMASE-WECSA continuera à appuyer le Projet</p>

Activités	Contribution		Suppositions importantes
	JICA	Burkina Faso	
<p>Résultat 1 :</p> <p>1a. Mettre en place un comité de pilotage au niveau national</p> <p>1b. Mettre en place un comité de pilotage au niveau local</p> <p>1c. Mettre en place une équipe de formateurs nationaux</p> <p>1d. Mettre en place une équipe de formateurs locaux.</p> <p>Résultat 2 :</p> <p>2a. Mener une étude de base concernant les besoins des enseignants à la formation continue</p> <p>2b. Elaborer des outils didactiques</p> <p>Résultat 3 :</p> <p>3a. Effectuer des formations pour les formateurs nationaux</p> <p>3b. Effectuer des formations pour les formateurs locaux</p> <p>3c. Effectuer des formations pour les représentants des GAP</p> <p>3d. Assurer les activités de suivi-évaluation pour la formation nationale</p> <p>3e. Assurer les activités de suivi-évaluation pour la formation locale</p> <p>3f. Organiser un atelier d'échange autour des activités du Projet</p> <p>Résultat 4 :</p> <p>4a. Elaborer des plans d'action des GAP spécifiques au SMASE</p> <p>4b. Développer la pratique de la méthode SMASE dans les activités GAP</p> <p>4c. Les encadreurs pédagogiques donnent ses appuis techniques aux activités SMASE de GAP à travers les responsables de GAP</p> <p>4d. Les formateurs nationaux donnent ses appuis techniques aux représentants des GAP et aux formateurs locaux.</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Expert à long terme • Expert à court terme • Equipements nécessaires pour le Projet • Formation dans les pays tiers ou au Japon • Matériaux et équipements pour les formations 	<ul style="list-style-type: none"> • Homologues (Coordonnateur National, six personnes de l'équipe permanente, Formateurs Nationaux, Coordonnateurs Locaux, et Formateurs Locaux) • Bureau du Projet, sa réhabilitation et son entretien • Centres de formation nationale et locale • Dépenses liées aux formations (restauration, logement, transport, etc.) • Dépenses liées au suivi et évaluation et leur renforcement 	<p>De nouveaux projets ou formations n'entraveront pas la mise en œuvre du Projet.</p> <p>Préalables</p> <p>La Politique du Gouvernement du Burkina Faso en matière de promotion de l'enseignement et l'apprentissage des Mathématiques et des Sciences et d'amélioration de formation continue ne change pas.</p>

ANNEXE I-5 CAHIER DE CHARGES DES DIFFERENTES STRUCTURES

1. Comité National de Pilotage

- (1) Le Comité National de Pilotage est un organe de supervision, de suivi et d'évaluation de mise en œuvre des activités dans le cadre du Projet. A ce titre, il est chargé de:
- définir les orientations générales et la stratégie de mise en œuvre du Projet ;
 - superviser la gestion et l'administration générale du Projet ;
 - adopter les plans annuels des opérations soumis par le Coordonnateur National ;
 - évaluer l'état d'avancement global du Projet

- (2) Le Comité National de Pilotage est composé de la JICA et des services suivants du MEBA :

Président :

Le Secrétaire Général du MEBA

Membres :

- La Directrice Générale de l'Enseignement de Base (DGEB) ;
 - La Directrice Générale du Centre de Recherche, des Innovations Educatives et de Formation (DG/CRIEF) ;
 - La Directrice de l'Administration et des Finances (DAF) ;
 - La Directrice des Ressources Humaines (DRH) ;
 - La Directeur des Etudes et de la Planification (DEP) ;
 - Le Directeur Général de l'Ecole National des Enseignants du Primaire (ENEP Loubila).
 - Le Coordonnateur National
 - Le Représentant Résident de la JICA Burkina Faso
 - L'expert de la JICA
- (3) Dans la mise en œuvre du Projet, les responsabilités du Comité de Pilotage sont établies comme suit :
- DG EB définit les critères de la mise en oeuvre des activités au niveau des groupes d'Animation Pédagogique (GAP) à travers la Direction du Développement de l'Enseignement de Base (DDEB) ;
 - DG/CRIEF est responsable de la mise en oeuvre du Projet sous sa forme innovation à travers la Direction de la Recherche et du Développement Pédagogique (DRDP), structure d'exécution du Projet ;
 - DAF prend en charge toutes les questions financières et matérielles qui engage la partie burkinabé ;

h.

q

21.

- DRH assure la gestion administrative du personnel, notamment les mouvements des enseignants et celui de l'équipe permanente du Projet ;
 - DEP rend compte des différents projets. A ce titre, elle est impliquée dans le suivi du Projet;
 - ENEP est le centre National de formation du Projet.
- (4) Le Comité National de Pilotage se réunit deux fois par an sur convocation de son président.
- En début d'année, pour examiner et approuver le programme et le budget de l'année ;
 - En fin d'année, pour examiner le bilan général de l'exécution du programme ;
 - Le Comité de Pilotage peut être convoqué en session extraordinaire chaque fois que de besoin.
- (5) Les rencontres du Comités font l'objet d'un procès-verbal à l'attention du Ministre de l'Enseignement de Base et de l'Alphabétisation.

2. Comité Local de Pilotage

- (1) Les Comités Locaux de Pilotage sont mise en place pour la bonne mise en œuvre du Projet dans leur zone.

Ils ont pour missions de :

- gérer administrativement le Projet au niveau local ;
- contrôler l'état d'avancement des activités du Projet dans la zone ;
- exécuter toute mesure visant l'amélioration de la bonne marche du Projet dans leur zone.

- (2) Le Comité Local du Pilotage est composé comme suit :

Président :

-Le Directeur Régional de l'Enseignement de Base et de l'Alphabétisation (DERBA).

Membres :

-Le Directeur Provincial de l'Enseignement de Base et de l'Alphabétisation (DPEBA) ;

-Les chefs de Circonscription d'Education de Base (CEB) de la province ;

-Le Coordonnateur Local.

Re

4
- 93 -

24

ANNEXE I-6 CAHIER DE CHARGES DE COORDONNATEURS ET DE FORMATEURS

1. Coordonnateur National ;

- (1) Un Coordonnateur National du Projet est nommé par arrêté du Ministre de l'Enseignement de Base et de l'Alphabétisation.
- (2) Le Coordonnateur National veille à la mise en oeuvre et au suivi des décisions du Comité National de Pilotage. Il initie toute mesure susceptible d'améliorer la bonne marche du Projet. Il prépare les ordres du jour des réunions et les convocations qu'il soumet à l'appréciation du Président du Comité, quinze (15) jours avant la réunion.

2. Coordonnateurs Locaux

- (1) Des Coordonnateurs Locaux sont nommés par les DREBA des zones du Projet sur proposition des DPEBA. Ils rendent compte au Coordonnateur National des activités du Projet de leur zone.
- (2) Les Coordonnateurs Locaux ont pour missions de :
 - faire les synthèses des activités dans leur zone ;
 - acheminer les bilans au niveau central ;
 - initier toute activité pouvant contribuer à la bonne marche du Projet.

3. Equipe de formateurs nationaux

- (1) Une équipe de formateurs nationaux est constituée sur décision du Ministre de l'Enseignement de Base et de l'Alphabétisation.
- (2) L'équipe de formateurs nationaux est composée de 23 cadres, notamment des encadreurs pédagogiques et des spécialistes en science de l'éducation.
- (3) L'équipe de formateurs nationaux est chargée de :
 - définir le plan annuel de travail ;
 - exécuter les formations au niveau central ;
 - mener le suivi et l'évaluation du Projet ;
 - donner un appui pour les formateurs locaux ;
- (4) Une équipe permanente de sept (07) personnes choisies parmi les formateurs nationaux est mise en place.
- (5) L'équipe permanente a pour mission de :
 - élaborer les modules de formations en collaboration avec des personnes ressources ;
 - élaborer des outils de suivi et évaluation ;
 - élaborer des supports didactiques ;
 - élaborer des programmes de formation.



4. Equipe de formateurs locaux

- (1) Des équipes de formateurs locaux sont mise en place par les DREBA dans les zones d'intervention du Projet. Chaque équipe est formée de cinq formateurs. Pour la province du Kadiogo, ce nombre est de huit (8).
- (2) Les critères pour la sélection des formateurs locaux sont les suivants :
 - être Inspecteur ou Conseiller Pédagogique de la zone concernée du Projet ;
 - avoir une expérience d'animation des groupes de travail ;
 - avoir des compétences pour assurer des formations ;
 - avoir une expérience d'au moins trois ans l'encadrement des enseignants.
- (3) Les équipes de formateurs locaux ont pour missions de :
 - exécuter les formations au niveau local ;
 - conduire les actions de sensibilisation à l'endroit des acteurs du système éducatif dans leur zone ;
 - mener le suivi et l'évaluation du Projet dans leur zone ;
 - donner un appui pour les représentants de GAP.

5. Représentants des Groupes d'Animation Pédagogique (GAP)

Les critères pour la sélection des représentants des GAP sont les suivants :

- être coordonnateur de GAP ;
- être secrétaire (rapporteur) de GAP ;

Li

Y

Y.

ANNEX I-7 CAHIER DE CHARGES DE L'EXPERT DE LA JICA

La JICA mettra à disposition un expert, dont les fonctions seront de:

- (1) conseiller, assister, le Coordonnateur National, les Coordonnateurs locaux, les Formateurs Nationaux, et les Formateurs Locaux dans la mise en œuvre et la gestion du Projet
- (2) donner les conseils aux homologues sur les aspects techniques sur le suivi et l'évaluation
- (3) donner les conseils aux homologues sur autres aspects pertinents concernant le Projet.

dr

φ
- 96 -

24.

ANNEXE I-8 ESTIMATION DU BUDGET

GLOBAL

FCFA

	2008	2009	2010	Total
JICA	164 430 000	84 385 000	68 395 000	317 210 000
MEBA	43 259 000	74 999 000	97 099 000	215 357 000
Total	207 689 000	159 384 000	165 494 000	532 567 000
JICA %	79,2%	52,9%	41,3%	59,6%
MEBA%	20,8%	47,1%	58,7%	40,4%

US\$ (\$ 1= 480XOF)

	2008	2009	2010	Total
JICA	\$342 563	\$175 802	\$142 490	\$660 854
MEBA	\$90 123	\$156 248	\$202 290	\$448 660
Total	\$432 685	\$332 050	\$344 779	\$1 109 515

Yen(¥1=4XOF)

	2008	2009	2010	Total
JICA	¥1 107 500	¥21 096 250	¥17 098 750	¥79 302 500
MEBA	¥10 814 750	¥18 749 750	¥24 274 750	¥53 839 250
Total	¥1 922 250	¥39 846 000	¥41 373 500	¥133 141 750

Principe de Repartition de Cout

	2008	2009	2010
Formation au pays tiers	JICA	JICA	JICA
Formation Nationale	JICA	JICA	MEBA
Formation Locale	JICA (Kadiogo, Oubritenga) MEBA (Tuy, Sanmatenga)	MEBA	MEBA
Suivi et evaluation des activites GAP	JICA	JICA	JICA
	MEBA	MEBA	MEBA
Suivi/Evaluation d'école, classe	MEBA	MEBA	MEBA

dr

cf

24.

ANNEXE I-8 ESTIMATION DU BUDGET

	Articles	Unit FCFA	Quantité		Total	Organisation Responsable	
			Fréquence	personnes			
Préparation	Etude de base (Voir la feuille "module")	5 810 000	1	1	5 810 000	JICA	
	Développement du module (Voir la feuille "module")	5 585 000	1	1	5 585 000	JICA	
Formation Nationale	Transport (Formateurs Nationaux et Locaux)	5 000	2	170	1 700 000	JICA	
	Hébergement et Réstration (formateurs nationaux et locaux)	10 000	12	170	20 400 000	JICA	
	Matériel et des kits des participants	10 000	1	170	1 700 000	JICA	
	Prestation des formateurs nationaux	25 000	10	10	2 500 000	MEBA	
	Billet d'avion (expert pays-tiers)	1 000 000	1	2	2 000 000	JICA	
	Allocation et hébergement (expert pays-tiers)	65 000	15	2	1 950 000	JICA	
	Traducteur bilingue	80 000	10	2	1 600 000	JICA	
	Ceremonie d'ouverture	500 000	1	1	500 000	JICA	
	Impression des modules	10 000	1	170	1 700 000	JICA	
Formation à l'étranger	Formation au Kenya (restauration et hébergement)	35 000	28	10	9 800 000	JICA	
	Billet d' avion	1 000 000	1	10	10 000 000	JICA	
	Cotisation Annuelles WESCA	150 000	3	1	450 000	MEBA	
	Adhésion WESCA	50 000	1	1	50 000	MEBA	
	Prise en charge des participants	165 000	1	10	1 650 000	MEBA	
	VISA	25 000	1	10	250 000	MEBA	
Conférence SMASE-WECSA	Billet d' avion des participants Burkinabés	1 000 000	1	3	3 000 000	JICA	
	Restauration et hébergement des burkinabe	350 000	1	3	1 050 000	JICA	
	Frais de VISA	25 000	1	3	75 000	MEBA	
	Prise en charge des participants	200 000	1	3	600 000	MEBA	
	Billet d' avion de l' expert Japonais	1 000 000	1	1	1 000 000	JICA	
	Restauration et hébergement de l' expert Japonais	420 000	1	1	420 000	JICA	
Formation Locale	Transport (Kadiogo, Ouhritenga)	2 500	2	483	2 415 000	JICA	
	Kadiogo(Hébergement, Restauration)	10 000	6	403	24 180 000	JICA	
	Ouhritenga(Hébergement, Restauration)	10 000	6	80	4 800 000	JICA	
	Transport (Sanmatenga, Tuy)	2 500	2	184	920 000	MEBA	
	Sanmatenga (Hébergement, Restauration)	10 000	6	128	7 680 000	MEBA	
	Tuy (Hébergement, Restauration)	10 000	6	56	3 360 000	MEBA	
	Impression de matériel et des kits des participants	5 000	1	670	3 350 000	JICA	
	Prestation des formateurs locaux	25 000	6	23	3 450 000	MEBA	
	Supervision des formations locales par les formateurs nationaux	10 000	2	8	160 000	MEBA	
	Carburant pour la supervision par les formateurs nationaux	150 000	1	1	150 000	MEBA	
	Chauffeur pour la supervision	7 500	2	4	60 000	MEBA	
	Fournitures de bureau	500 000	1	1	500 000	MEBA	
	Suivi evaluation par JICA Expert (formation locale et GAP)	65 000	1	14	910 000	JICA	
	Suivi et evaluation des GAP par les formateurs nationaux	10 000	2	8	160 000	MEBA	
	Suivi evaluation par CEB	100 000	1	43	4 300 000	MEBA	
	Impression des modules	10 000	1	670	6 700 000	JICA	
Gestion	Abonnement d'eau, électricité, téléphone, internet	350 000	1	12	4 200 000	MEBA	
	Frais de gardiennage et nettoyage	50 000	3	12	1 800 000	MEBA	
	Journaux	2 000	1	12	24 000	MEBA	
	Aménagement du bureau	9 000 000	1	1	9 000 000	MEBA	
	Chauffeur	150 000	1	9	1 350 000	JICA	
	Secrétaire	200 000	1	12	2 400 000	JICA	
	Installation Communication (Internet, etc)	600 000	1	1	600 000	JICA	
	Ordinateur portable	1 000 000	1	3	3 000 000	JICA	
	Ordinateur	1 000 000	1	5	5 000 000	JICA	
	Projecteur	1 000 000	1	2	2 000 000	JICA	
	Caméscope	500 000	1	2	1 000 000	JICA	
	Photo numerique	200 000	1	1	200 000	JICA	
	Imprimantes	500 000	1	2	1 000 000	JICA	
	Onduleurs	100 000	1	5	500 000	JICA	
	Photocopieur	3 000 000	1	1	3 000 000	JICA	
	Véhicule	18 000 000	1	1	18 000 000	JICA	
	Flip Chart	200 000	1	4	800 000	JICA	
	Compendium scientifique	750 000	1	3	2 250 000	JICA	
	Entretien des équipements dans le bureau	1 000 000	1	1	1 000 000	JICA	
	Entretien de véhicule	1 000 000	1	1	1 000 000	JICA	
	Assurance de véhicule	1 000 000	1	1	1 000 000	JICA	
	Carburant et lubrifiant	350 000	1	9	3 150 000	JICA	
	Courrier	120 000	1	12	1 440 000	JICA	
	Papeterie	85 000	1	12	1 020 000	JICA	
	Mobilier de bureau	2 000 000	1	1	2 000 000	JICA	
	Indemnité pour le Coordonateur National	95 000	1	12	1 140 000	MEBA	
	Indemnité pour le gestionnaire	65 000	1	12	780 000	MEBA	
	Location de voiture	60 000	1	30	1 800 000	JICA	
	Promotion du projet (depliants, logos, etc...)	350 000	1	1	350 000	JICA	
	Total					207 689 000	
	Partage de frais de chaque organisation			MEBA		43 259 000	20,8%
				JICA		164 430 000	79,2%

ANNEXE I-8 ESTIMATION DU BUDGET

Module	Articles	Unit FCFA	Quantité		Total Estimate	Organisation Responsable
			Fréquence	Persomes		
Module	Développement du module (Voir la feuille "module")	5 585 000	1	1	5 585 000	JICA
Formation Nationale	Transport (Formateurs nationaux et locaux)	5 000	2	170	1 700 000	JICA
	Hébergement (formateurs nationaux et formateur locaux)	5 000	12	170	10 200 000	JICA
	Restauration (formateurs nationaux et formateur locaux)	5 000	12	170	10 200 000	JICA
	Elabolation et impression de matériel et des kits des participants	5 000	1	170	850 000	MEBA
	Traducteur bilingue	80 000	10	1	800 000	JICA
	Prestation des formateurs nationaux	25 000	10	10	2 500 000	MEBA
	Billet d'avion (expert pays-tiers)	1 000 000	1	1	1 000 000	JICA
	Allocation et Hébergement (expert pays-tiers)	65 000	14	1	910 000	JICA
	Ceremonie d'ouverture	500 000	1	1	500 000	JICA
Impression des modules	10 000	1	170	1 700 000	JICA	
Formation à l'étranger	Voyages d' études	1 000 000	1	3	3 000 000	JICA
	Formation au Kenya (restauration et hébergement)	35 000	28	10	9 800 000	JICA
	Billet d' avion	1 000 000	1	10	10 000 000	JICA
	Prise en charge des participants	165 000	1	10	1 650 000	MEBA
	Cotisation Annuelles WECSA	150 000	1	1	150 000	MEBA
VISA	25 000	1	10	250 000	MEBA	
Conférence SMASE-pays-tiers	Billet d' avion des participants Burkinabés	1 000 000	1	3	3 000 000	JICA
	Restauration et hébergement des burkinabés	350 000	1	3	1 050 000	JICA
	Frais de VISA	25 000	1	3	75 000	MEBA
	Prise en charge des participants	200 000	1	3	600 000	MEBA
	Billet d'avion de l'expert Japonais	1 000 000	1	1	1 000 000	JICA
Restauration et hébergement de l'expert Japonais	420 000	1	1	420 000	JICA	
Formation Locale	Transports des participants	2 500	2	670	3 350 000	MEBA
	Hébergements et restaurations des participants	10 000	6	670	40 200 000	MEBA
	Impression de matériel et des kits des participants	5 000	1	670	3 350 000	MEBA
	Fournitures de bureau	500 000	1	1	500 000	MEBA
	Prestation des formateurs locaux	25 000	6	23	3 450 000	MEBA
	Suivi Evaluation de CEB	100 000	2	43	8 600 000	MEBA
	Supervision des formations locales par les formateurs nationaux	10 000	2	8	160 000	MEBA
	Carburant pour la supervision par les formateurs nationaux	150 000	1	1	150 000	MEBA
	Chauffeurs pour la supervision	7 500	2	4	60 000	MEBA
	Suivi evaluation par JICA Expert (hebergement, restauration)	65 000	1	14	910 000	JICA
	Suivi et evaluation des GAP par les formateurs nationaux	10 000	2	8	160 000	MEBA
	Impression des modules	10 000	1	670	6 700 000	JICA
Gestion	Abonnement d'eau, électricité, téléphone, internet	350 000	1	12	4 200 000	MEBA
	Gardiennage, Nettoyage	50 000	3	12	1 800 000	MEBA
	Journaux	2 000	1	12	24 000	MEBA
	Chauffeur	150 000	1	12	1 800 000	JICA
	Secrétaire	200 000	1	12	2 400 000	JICA
	Entretien des équipements dans le bureau	1 000 000	1	1	1 000 000	JICA
	Entretien des bâtiment interieurs	1 000 000	1	1	1 000 000	MEBA
	Entretiens de véhicule	1 200 000	1	1	1 200 000	JICA
	Assurance de véhicule	1 000 000	1	1	1 000 000	JICA
	Carburant et lubrifiant	350 000	1	12	4 200 000	JICA
	Indemnité pour le Coordonateur National	95 000	1	12	1 140 000	MEBA
	Indemnité pour le gestionnaire	65 000	1	12	780 000	MEBA
	Papeteries	85 000	1	12	1 020 000	JICA
	Courrier	120 000	1	12	1 440 000	JICA
	Promotion	Atelier d'échange	10 000	2	50	1 000 000
Transport de l'atelier d'échange		5 000	1	20	100 000	JICA
Promotion du projet		350 000	1	1	350 000	JICA
OLYMPIADES						
Publication de bulletin	100 000	4	1	400 000	JICA	
Total				159 384 000		
Partage de frais de chaque organisation			MEBA	74 999 000	47,1%	
			JICA	84 385 000	52,9%	

Li

4

21

ANNEXE I-8 ESTIMATION DU BUDGET

	Articles	Unit FCFA	Quantité		Total Estimate	Organisation Responsable
			Fréquence	Personnes		
Révision du module	Etude de bilan (Voir Annex I-8-5)	5 810 000	1	1	5 810 000	JICA
	Développement du module (Voir I-8-5)	5 585 000	1	1	5 585 000	JICA
Formation Nationale	Transport (formateurs nationaux et locaux)	5 000	2	170	1 700 000	MEBA
	Hébergement (formateurs nationaux et locaux)	5 000	12	170	10 200 000	MEBA(ENEP)
	Restauration (formateurs nationaux et locaux)	5 000	12	170	10 200 000	MEBA
	Matériel et des kits des participants	5 000	1	170	850 000	MEBA
	Traducteur bilingue	80 000	10	1	800 000	JICA
	Prestation des formateurs nationaux	25 000	10	10	2 500 000	MEBA
	Billet d'avion (expert pays-tiers)	1 000 000	1	1	1 000 000	JICA
	Allocation et Hébergement (expert pays-tiers)	65 000	14	1	910 000	JICA
	Ceremonie d'ouverture	500 000	1	1	500 000	JICA
	Impression des modules	10 000	1	170	1 700 000	JICA
Formation à l'étranger	Voyages d'études	1 000 000	1	3	3 000 000	JICA
	Formation au Kenya (restauration et hébergement)	35 000	28	10	9 800 000	JICA
	Billet d'avion	1 000 000	1	10	10 000 000	JICA
	Prise en charge des participants	165 000	1	10	1 650 000	MEBA
	Cotisation Annuelles WESCA	150 000	1	1	150 000	MEBA
	VISA	25 000	1	10	250 000	MEBA
Conférence SMASE-pays-tiers	Billet d'avion des participants Burkinabés	1 000 000	1	3	3 000 000	JICA
	Restauration et hébergement	350 000	1	3	1 050 000	JICA
	Frais de VISA	25 000	1	3	75 000	MEBA
	Prise en charge des participants	200 000	1	3	600 000	MEBA
	Billet d'avion de l'expert Japonais	1 000 000	1	1	1 000 000	JICA
	Restauration et hébergement de l'expert Japonais	420 000	1	1	420 000	JICA
Formation Locale	Transports des participants	2 500	2	670	3 350 000	MEBA
	Hébergements et restaurations des participants	10 000	6	670	40 200 000	MEBA
	Impression de matériel et des kits des participants	5 000	1	670	3 350 000	MEBA
	Prestation des formateurs locaux	25 000	6	23	3 450 000	MEBA
	Fournitures de bureau	500 000	1	1	500 000	MEBA
	Supervision des formations locales par les formateurs nationaux	10 000	2	8	160 000	MEBA
	Carburant pour la supervision par les formateurs nationaux	150 000	1	1	150 000	MEBA
	Chauffeur pour la supervision	7 500	2	4	60 000	MEBA
	Suivi Evaluation de CEB	100 000	2	43	8 600 000	MEBA
	Suivi et évaluation des GAP par les formateurs nationaux	10 000	2	8	160 000	MEBA
	Suivi évaluation par JICA Expert (formation locale, GAP)	65 000	1	14	910 000	JICA
Impression des modules	10 000	1	670	6 700 000	JICA	
Gestion	Abonnement d'eau, électricité, téléphone, internet	350 000	1	12	4 200 000	MEBA
	Gardiennage, Nettoyage	50 000	3	12	1 800 000	MEBA
	Journaux	2 000	1	12	24 000	MEBA
	Chauffeur	150 000	1	12	1 800 000	JICA
	Secrétaire	200 000	1	12	2 400 000	JICA
	Entretien des équipements dans le bureau	1 000 000	1	1	1 000 000	JICA
	Entretien des bâtiments intérieurs	1 000 000	1	1	1 000 000	MEBA
	Entretiens de véhicule	1 500 000	1	1	1 500 000	JICA
	Carburant et lubrifiants	350 000	1	12	4 200 000	JICA
	Assurance de Véhicule	1 000 000	1	1	1 000 000	JICA
	Papeteries	85 000	1	12	1 020 000	JICA
	Indemnité pour le Coordonateur National	95 000	1	12	1 140 000	MEBA
	Indemnité pour le gestionnaire	65 000	1	12	780 000	MEBA
	Courrier	120 000	1	12	1 440 000	JICA
Promotion	Atelier d'échange	10 000	2	50	1 000 000	JICA
	Transport de l'atelier d'échange	5 000	1	20	100 000	JICA
	Promotion du projet	350 000	1	1	350 000	JICA
	Publication de bulletin	100 000	4	1	400 000	JICA
Total				165 494 000		
Partage de frais de chaque organisation			MEBA		97 099 000	58,7%
			JICA		68 395 000	41,3%

di

27.

ANNEXE I-8-5 Etude et Module

	Articles	Prix	Quantité	durée	
Etude de base	Développement des questionnaires	1 000	300	1	300 000
	Voiture de location	80 000	4	5	1 600 000
	transportation de facilitateur (expert pays-tiers)	1 000 000	1	1	1 000 000
	Allocation et hébergement (expert pays-tiers)	65 000	1	14	910 000
	Interpret	80 000	1	10	800 000
	Hebergement et Restauration	25 000	8	6	1 200 000
	Sous-total				
Développement du module	Café et déjeuner	5 000	23	5	575 000
	Papeterie	2 500	23	1	57 500
	Transport	2 500	23	5	287 500
	Matériaux et photocopies	10 000	23	1	230 000
	Transport de facilitateur (expert pays-tiers)	1 000 000	1	1	1 000 000
	Allocation et hébergement (expert pays-tiers)	65 000	1	14	910 000
	Interpret	80 000	1	10	800 000
	<u>Atelier de Validation</u>				
	Transport	10 000	15	1	150 000
	Café et déjeuner	5 000	50	1	250 000
	Papeterie	2 500	50	1	125 000
	Matériaux et photocopies	10 000	50	1	500 000
	Traducteur	10 000	1	60	600 000
	Salle	100 000	1	1	100 000
	Impression du modules	15 000	0	0	0
Sous-total (Développement du module)					5 585 000
Etude de bilan	Développement des questionnaires	1 000	300	1	300 000
	Voiture de location	80 000	4	5	1 600 000
	transportation de facilitateur (expert pays-tiers)	1 000 000	1	1	1 000 000
	Allocation et hébergement (expert pays-tiers)	65 000	1	14	910 000
	Interpret	80 000	1	10	800 000
	Hebergement et Restauration	25 000	8	6	1 200 000
	Sous-total (Etude de bilan)				

di.

4

24.

(DRAFT)
**PROCES VERBAL DES DISCUSSIONS
ENTRE
L'AGENCE JAPONAISE DE COOPERATION INTERNATIONALE
ET
LES AUTORITES CONCERNEES DU GOUVERNEMENT DU BURKINA FASO
POUR
LA MISE EN ŒUVRE DU PROJET D'APPUI A LA FORMATION CONTINUE DES
ENSEIGNANTS EN MATIERE DE SCIENCES ET DE MATHÉMATIQUES A
L'ECOLE PRIMAIRE
DANS LE CADRE DE LA COOPERATION TECHNIQUE**

En se référant au Procès Verbal des Discussions entre la deuxième mission d'Etude Préparatoire et le Gouvernement du Burkina Faso, signé le 23 novembre 2007, l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (ci-après désigné par « JICA ») représentée par le Représentant Résident de la JICA au Burkina Faso a eu une série de discussions avec les autorités concernées du Burkina Faso relatives aux mesures à prendre par les deux Gouvernements en vue de la mise en œuvre du Projet d'Appui à la Formation Continue des Enseignants en Matière de Sciences et de Mathématiques à l'Ecole Primaire dans le cadre de la coopération technique.

A la suite de ces discussions, les deux parties ont convenu de faire des recommandations à leurs Gouvernements respectifs sur les sujets auxquels il est fait référence dans le document en annexe ci-joint.

Ouagadougou le jj mm 2007

M. Yoshio HORIUCHI
Représentant Résident
de l'Agence Japonaise de Coopération
Internationale au Burkina Faso
Japon

Mme. Marie Odile BONKOUNGOU
Ministre de l'Enseignement de Base et de
l'Alphabétisation
Burkina Faso

M. Jean Baptiste M. P. COMPAORE
Ministre de l'Economie et des Finances
Burkina Faso

DOCUMENT ATTACHE

I. COOPERATION ENTRE LA JICA ET LE GOUVERNEMENT DU BURKINA FASO

1. Le Gouvernement du Burkina Faso mettra en œuvre du Projet d'Appui à la Formation Continue des Enseignants en Matière de Sciences et de Mathématiques à l'Ecole Primaire (ci-après désigné « Projet ») avec la Coopération de la JICA.
2. Le Projet sera mis en œuvre conformément au Plan Directeur joint en ANNEXE I.

II. MESURE À PRENDRE PAR LA JICA

Conformément aux lois et règlements en vigueur au Japon, la JICA prendra, à ses propres frais, les mesures suivantes selon les procédures normales conformément au Schéma de Coopération Technique du Japon.

1. ENVOI D'EXPERTS JAPONAIS

La JICA fournira les services des experts japonais présentés en ANNEXE II.

2. FOURNITURE DE MACHINES ET D'EQUIPEMENTS

La JICA fournira les appareils, équipements et autres matériels nécessaires à la mise en œuvre du Projet et énumérés en ANNEXE III (ci-après désignés par l'Équipement»). Ces équipements et matériels deviendront la propriété du gouvernement du Burkina Faso dès qu'ils sont livrés au point de livraison en valeur CAF (coût, assurance et fret) à l'intérieur du Burkina Faso à l'intention des autorités burkinabé.

3. FORMATION DU PERSONNEL BURKINABE AU JAPON OU DANS UN PAYS TIERS

La JICA accueillera le personnel burkinabé engagé dans le Projet, en vue d'une formation technique au Japon ou dans un pays tiers.

III. MESURES À PRENDRE PAR LE GOUVERNEMENT DU BURKINA FASO

1. Le Gouvernement du Burkina Faso prendra les mesures nécessaires pour assurer le bon déroulement du Projet et sa pérennisation, avec l'implication effective des autorités concernées, des homologues, des institutions liées au Projet ainsi que des groupes bénéficiaires.
2. Le Gouvernement du Burkina Faso veillera à ce que la technologie et les connaissances acquises par le personnel burkinabé, résultats de la coopération technique du Japon, contribuent au développement social et économique du Burkina Faso.
3. Le Gouvernement du Burkina Faso accordera aux experts japonais ou de pays tiers mentionnés en II-1, les privilèges, exonérations et avantages énumérés en ANNEXE IV au moins aussi favorables que ceux dont bénéficient des experts de pays tiers ou d'organisations internationales chargées de missions similaires conformément aux dispositions en vigueur au Burkina Faso.

4. Le Gouvernement du Burkina Faso veillera à ce que l'Équipement mentionné en II-2 ci-dessus soit utilisé effectivement pour la bonne exécution du Projet, en collaboration avec les experts japonais et des experts de pays tiers présentés en ANNEXE II.
5. Le Gouvernement du Burkina Faso prendra les mesures nécessaires pour s'assurer que les connaissances et expériences acquises par le personnel burkinabé pendant le stage technique au Japon ou aux pays tiers, seront utilisées effectivement pour la bonne exécution du Projet.
6. Conformément aux lois et règlements en vigueur au Burkina Faso, le Gouvernement du Burkina Faso mettra à la disposition du Projet du personnel burkinabé de contrepartie et du personnel administratif figurant à l'Annexe V, des locaux servant de bureaux, de l'eau et de l'électricité. Le Projet devra également bénéficier d'exonérations douanières sur le matériel et équipements importés, d'exonérations de la TVA et des autres taxes sur le carburant.
7. Conformément aux lois et règlements en vigueur au Burkina Faso, le Gouvernement du Burkina Faso prendra les mesures nécessaires afin d'assurer à ses propres frais :
 - (1) Les services du Personnel burkinabé de contrepartie et du personnel administratif figurant à l'Annexe V.
 - (2) Les terrains, bâtiments et infrastructures figurant à l'Annexe VI, et
 - (3) La fourniture ou le renouvellement des machines, équipements, instruments, véhicules, outils, pièces de rechange et autres matériels nécessaires à la mise en œuvre du Projet, autres que les Équipements fournis par la JICA au point II-2.

IV. ADMINISTRATION DU PROJET

1. Le Secrétaire Général du Ministère de l'Enseignement de Base et de l'Alphabétisation sera responsable de la coordination générale des activités du Projet.
2. Le Coordonnateur National du Projet nommé par le Ministère de l'Enseignement de Base et de l'Alphabétisation sera chargé de la gestion des aspects techniques du Projet pour le compte du Ministère.
3. L'Expert japonais fera les recommandations nécessaires et conseillera Le Coordonnateur National du Projet sur les aspects relatifs à la mise en œuvre du Projet.
4. Les Experts japonais et de pays tiers donneront des conseils et directives nécessaires au Personnel de contrepartie burkinabé sur les aspects techniques relatifs à la mise en œuvre du Projet.
5. Pour une mise en œuvre effective et réussie de la coopération technique dans le cadre du Projet, le Comité National de Pilotage et des Comités Locaux de Pilotage, dont le rôle et la composition figurent à l'Annexe VII, seront mis en places.

V. EVALUATION CONJOINTE

L'Evaluation du Projet se fera conjointement par la JICA et les Autorités burkinabé compétentes, à mi-parcours et pendant les six derniers mois de la période de coopération, afin d'examiner le niveau de réalisation.

VI. RECLAMATION CONTRE LES EXPERTS JAPONAIS

Le Gouvernement du Burkina Faso défendra les experts japonais et de pays-tiers engagés dans le Projet contre les réclamations des tierces parties, si ces réclamations sont liées à l'accomplissement de leurs fonctions officielles au Burkina Faso. Ceci ne sera pas le cas, si ces réclamations sont survenues par suite d'une in conduite volontaire ou à une négligence importante de la part des experts japonais et de pays tiers.

VII. CONSULTATIONS MUTUELLES

Il y aura une consultation mutuelle entre la JICA et le Gouvernement du Burkina Faso pour toutes questions majeures sur la forme ou le fond ayant un rapport avec le présent Document Attaché.

VIII. MESURES POUR PROMOUVOIR LE PROJET AUPRES DES POPULATIONS

Pour une meilleure connaissance du Projet, par les populations du Burkina Faso, le Gouvernement du Burkina Faso prendra les mesures appropriées pour une large diffusion des informations sur le Projet.

IX. PERIODE DE LA COOPERATION

La durée de la coopération technique pour le Projet conformément à ce Document Attaché sera de trois(3) ans à partir de janvier 2008.

X. LIEN AVEC ENTENTE DE COOPERATION

Une Entente de Coopération a été conjointement formulée en vue de confirmer le consentement mutuel sur les sujets auxquels il n'est pas fait référence dans ce PV.

ANNEXE I PLAN DIRECTEUR

ANNEXE II LISTE DES EXPERTS JAPONAIS ET DE PAYS TIERS

ANNEXE III LISTE DES EQUIPEMENTS

ANNEXE IV PRIVILEGES, EXONERATIONS ET BENEFICES ACCORDES AUX EXPERTS JAPONAIS

ANNEXE V LISTE DES HOMOLOGUES ET DU PERSONNEL D'APPUI DE LA PARTIE BURKINABE

ANNEXE VI LISTE DE TERRAIN, BATIMENTS, ET INFRASTRUCTURES

ANNEXE VII ROLES DES DIFFERENTES STRUCTURES DU PROJET

ANNEXE I PLAN DIRECTEUR

But du Projet : Les pratiques pédagogiques des enseignants dans le domaine de l'enseignement des mathématiques et des sciences sont améliorées à travers la formation continue.

Résultats :

1. La structuration et l'orientation du Projet sont mises en place.
2. Les contenus de formation sont développés.
3. La capacité des formateurs nationaux, des formateurs locaux, des inspecteurs, des conseillers pédagogiques et des représentants des GAP est renforcée.
4. Le concept et le contenu du SMASE et ASEI PDSI sont bien introduits et sont une partie intégrante des activités des GAP.

Activités

- 1a. Mettre en place un comité de pilotage au niveau national
- 1b. Mettre en place un comité de pilotage au niveau local
- 1c. Mettre en place une équipe de formateurs nationaux
- 1d. Mettre en place une équipe de formateurs locaux.

- 2a. Mener une étude de base concernant les besoins des enseignants à la formation continue
- 2b. Elaborer des outils didactiques

- 3a. Effectuer des formations pour les formateurs nationaux
- 3b. Effectuer des formations pour les formateurs locaux
- 3c. Effectuer des formations pour les représentants des GAP
- 3d. Assurer les activités de suivi-évaluation pour la formation nationale
- 3e. Assurer les activités de suivi-évaluation pour la formation locale
- 3f. Organiser un atelier d'échange autour des activités du Projet

- 4a. Elaborer des plans d'action des GAP spécifiques au SMASE
- 4b. Développer la pratique de la méthode SMASE dans les activités GAP
- 4c. Les encadreurs pédagogiques donnent ses appuis techniques aux activités SMASE de GAP à travers les responsables de GAP
- 4d. Les formateurs nationaux donnent ses appuis techniques aux représentants des GAP et aux formateurs locaux.

ANNEXE II LISTE DES EXPERTS JAPONAIS ET DE PAYS TIERS

1. Expert à long terme

(1) Gestion de la Formation Continue

2. Experts à court terme

(1) Enseignement des Mathématiques

(2) Enseignement des Sciences

(3) Suivi et Evaluation en Education

Si nécessaire des experts à court terme peuvent être affectés selon les besoins pour la bonne mise en oeuvre du Projet.

ANNEXE III LISTE DE MACHINES ET EQUIPEMENT

JICA fournira l'équipement nécessaire pour la mise en oeuvre du Projet:

1. Ordinateurs
2. Imprimantes
3. Photocopieurs
4. Vidéo Projecteurs
5. Véhicule pour le suivi
6. Equipements et matériels nécessaires pour mener la Formation Continue

Note: Les contenus, spécifications, et quantité d'équipement ci-dessus à fournir sont à déterminer entre les experts Japonais et le personnel homologue sur la base du plan de travail annuel du Projet, dans le budget alloué de l'année fiscale japonaise.

ANNEXE IV

PRIVILEGES, EXONERATIONS, ET AVANTAGES EN FAVEUR DES EXPERTS JAPONAIS ET DE PAYS TIERS

1. Exonérer d'impôt sur le revenu et d'autres frais de toute sorte imposés sur ou en relation avec les indemnités de vie payées à l'étranger pour les experts Japonais et de pays tiers ;
2. Exonérer d'impôt sur le revenu, de droits d'importation, et d'autres frais imposés sur les effets personnels de ménage d'experts Japonais et de pays tiers et de leurs familles, y compris un véhicule par expert ;
3. Utiliser tous les moyens disponibles pour fournir une assistance médicale et autre nécessaire pour les experts Japonais et de pays tiers et leurs familles ;
4. Délivrer, sur demande, des visas d'entrée en faveur des experts Japonais et de pays tiers et à leurs familles gratuitement ;
5. Délivrer des cartes d'identification aux experts Japonais et de pays tiers et à leurs familles pour sécuriser la coopération de toute l'organisation de l'état nécessaire pour l'accomplissement des obligations des experts
6. Exonérer de droits de douane pour l'importation et l'exportation de machines et équipement par des experts Japonais et de pays tiers en relation avec les activités du Projet.

**ANNEXE V LISTE DES HOMOLOGUES BURKINABE ET DU PERSONNEL
ADMINISTRATIF**

- (1) Coordinateur National (1)
- (2) Formateurs Nationaux (23, y compris Coordonnateur National)
- (3) Coordinateurs Locaux (4)
- (4) Formateurs Locaux (23)
- (5) Autre personnel homologue sera assigné si nécessaire pour la bonne mise en oeuvre du
Projet

ANNEXE VI LISTE DE TERRAIN, BATIMENTS, ET INFRASTRUCTURES

1. Les terrains, les bâtiments et infrastructures nécessaires pour le Projet.
2. Les salles et infrastructures nécessaires pour l'installation et le stockage de l'équipement.
3. Les bureaux et infrastructures nécessaires pour le Projet
4. Autres infrastructures mutuellement acceptées si nécessaires pour la mise en oeuvre du Projet.

ANNEXE VII. ROLES DES DIFFERENTES STRUCTURES DU PROJET

I. Comité National de Pilotage

1. Le Comité National de Pilotage est un organe de supervision, de suivi et d'évaluation de mise en œuvre des activités dans le cadre du SMASE-BURKINA FASO. A ce titre, il est chargé de:
 - a. définir les orientations générales et la stratégie de mise en œuvre du Projet ;
 - b. superviser la gestion et l'administration générale du Projet ;
 - c. adopter les plans annuels des opérations soumis par le Coordonnateur National ;
 - d. évaluer l'état d'avancement global du Projet.

2. Le Comité National de Pilotage est composé de la JICA et des services suivants du MEBA :

Président :

Le Secrétaire Général du MEBA

Membres :

- La Directrice Générale de l'Enseignement de Base (DGEB) ;
 - La Directrice Générale du Centre de Recherche, des Innovations Educatives et de Formation (DG/CRIEF) ;
 - La Directrice de l'Administration et des Finances (DAF) ;
 - La Directrice des Ressources Humaines (DRH) ;
 - La Directeur des Etudes et de la Planification (DEP) ;
 - Le Directeur Général de l'Ecole National des Enseignants du Primaire (ENEP Loumbila).
 - Le Coordonnateur National
 - Le Représentant Résident de la JICA Burkina Faso
 - L'expert de la JICA
3. Dans la mise en œuvre du Projet, les responsabilités du Comité de Pilotage sont établies comme suit :
 - DGEB définit les critères de la mise en oeuvre des activités au niveau des groupes d'Animation Pédagogique (GAP) à travers la Direction du Développement de l'Enseignement de Base (DDEB) ;
 - DG/CRIEF est responsable de la mise en oeuvre du Projet sous sa forme innovation à travers la Direction de la Recherche et du Développement Pédagogique (DRDP), structure d'exécution du Projet ;

- DAF prend en charge toutes les questions financières et matérielles qui engage la partie burkinabé ;
 - DRH assure la gestion administrative du personnel, notamment les mouvements des enseignants et celui de l'équipe permanente du Projet ;
 - DEP rend compte des différents projets. A ce titre, elle est impliquée dans le suivi du Projet SMASE ;
 - ENEP est le centre National de formation du Projet.
4. Le Comité National de Pilotage se réunit deux fois par an sur convocation de son président.
- En début d'année, pour examiner et approuver le programme et le budget de l'année ;
 - En fin d'année, pour examiner le bilan général de l'exécution du programme ;
 - Le Comité de Pilotage peut être convoqué en session extraordinaire chaque fois que de besoin.
5. Les rencontres du Comités font l'objet d'un procès-verbal à l'attention du Ministre de l'Enseignement de Base et de l'Alphabétisation.

II. Comité Local de Pilotage

1. Les Comités Locaux de Pilotage sont mise en place pour la bonne mise en œuvre du Projet dans leur zone.

Ils ont pour missions de :

- a. gérer administrativement le Projet au niveau local ;
- b. contrôler l'état d'avancement des activités du Projet dans la zone ;
- c. exécuter toute mesure visant l'amélioration de la bonne marche du Projet dans leur zone.

2. Le Comité Local du Pilotage est composé comme suit :

Président :

Le Directeur Régional de l'Enseignement de Base et de l'Alphabétisation (DERBA).

Membres :

- Le Directeur Provincial de l'Enseignement de Base et de l'Alphabétisation (DPEBA) ;
- Les chefs de Circonscription d'Education de Base (CEB) de la province ;
- Le Coordonnateur local.

III. Coordonnateur National ;

- Un Coordonnateur National du Projet est nommé par arrêté du Ministre de l'Enseignement de Base et de l'Alphabétisation.
- Le Coordonnateur National veille à la mise en oeuvre et au suivi des décisions du Comité National de Pilotage. Il initie toute mesure susceptible d'améliorer la bonne marche du Projet. Il prépare les ordres du jour des réunions et les convocations qu'il soumet à l'appréciation du Président du Comité, quinze (15) jours avant la réunion.

IV. Coordonnateurs Locaux

- Des Coordonnateurs Locaux sont nommés par les DREBA des zones du Projet sur proposition des DPEBA. Ils rendent compte au Coordonnateur National des activités du Projet de leur zone.
- Les Coordonnateurs Locaux ont pour missions de :
 - a. faire les synthèses des activités dans leur zone ;
 - b. acheminer les bilans au niveau central ;
 - c. traiter toute activité pouvant contribuer à la bonne marche du Projet.

V. Equipe de formateurs nationaux

- Une équipe de formateurs nationaux est constituée sur décision du Ministre de l'Enseignement de Base et de l'Alphabétisation.
- L'équipe de formateurs nationaux est composée de 23 cadres, notamment des encadreurs pédagogiques et des spécialistes en science de l'éducation.
- L'équipe de formateurs nationaux est chargée de:
 - a. définir le plan annuel de travail ;
 - b. exécuter les formations au niveau central ;
 - c. mener le suivi et l'évaluation du Projet ;
 - d. donner un appui pour les formateurs locaux.
- Une équipe permanente de sept (07) personnes choisies parmi les formateurs nationaux est mise en place.
- L'équipe permanente a pour mission de :
 - a. élaborer les modules de formations en collaboration avec des personnes ressources ;
 - b. élaborer des outils de suivi et évaluation ;
 - c. élaborer des supports didactiques ;
 - d. élaborer des programmes de formation.

VI. Equipe de formateurs locaux

- Des équipes de formateurs locaux sont mise en place par les DREBA dans les zones d'intervention du Projet. Chaque équipe est formée de cinq formateurs. Pour la province du Kadiogo, ce nombre est de huit (8).

- Les équipes de formateurs locaux ont pour missions de :
 - a. exécuter les formations au niveau local ;
 - b. conduire les actions de sensibilisation à l'endroit des acteurs du système éducatif dans leur zone ;
 - c. mener le suivi et l'évaluation du Projet dans leur zone ;
 - d. donner un appui pour les représentants de GAP.

VII. Représentants des Groupes d'Animation Pédagogique (GAP)

- Les critères pour la sélection des représentants des GAP sont les suivants :
 - a. être coordonnateur de GAP ;
 - b. être secrétaire (rapporteur) de GAP.